

# 平成16年度 福岡空港調査連絡調整会議幹事会(第3回)

## 配付資料一覧

次第

配席図

出席者名簿

審議事項

福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)について

資料1

福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案に対するご意見と当会議の  
考え方について(案)

資料2

福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)案

平成16年度 福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第3回）  
次 第

日時 平成17年1月20日（木）  
15：30～17：30  
場所 福岡国際会議場  
4階 401会議室

1. 開会

2. 議事

（1）「福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）成案」について

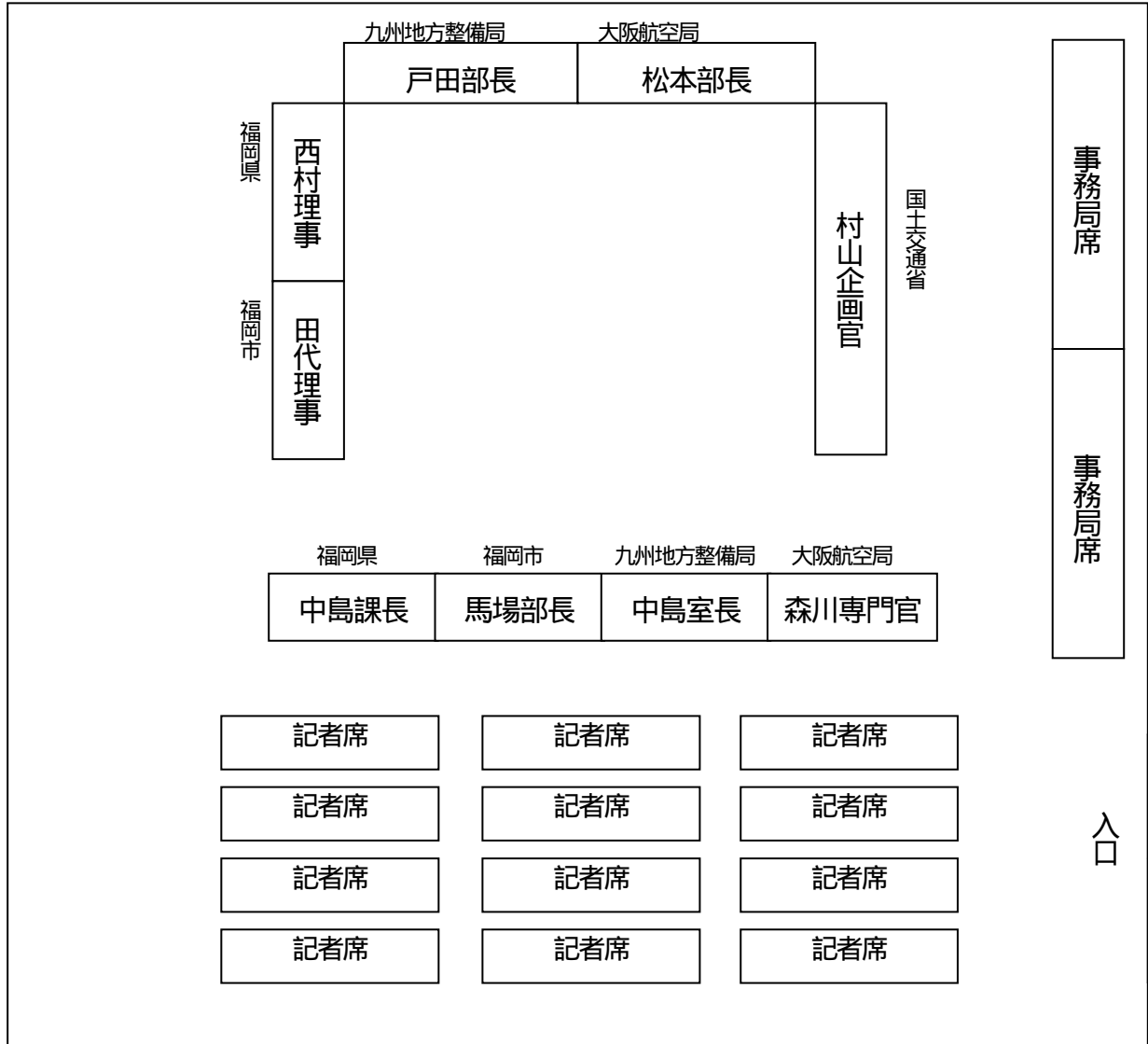
（2）その他

3. 閉会

平成16年度 福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第3回）  
配席図

日時 平成17年1月20日（木）15：30～

場所 福岡国際会議場 4階 401会議室



# 平成16年度福岡空港調査連絡調整会議幹事会(第3回)

## 出席者名簿

### ・ 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	とだ かずひこ 戸田 和彦
国土交通省大阪航空局飛行場部長	まつもと せいじ 松本 清次
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	にしむら のりあき 西村 典明
福岡市総務企画局理事	たしろ まさのり 田代 政範

### ・ 国土交通省航空局飛行場部からの参加

国土交通省航空局飛行場計画課空港計画企画官	むらやま いちろう 村山 伊知郎
-----------------------	---------------------

## 福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）について

福岡空港調査P I実施計画については、市民等の意見を反映しつつ作成するため、平成16年9月から10月にかけてP Iに関するアンケートを実施し、それを踏まえて福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案を作成し、その上で、平成16年11月1日から12月10日まで当該素案について、意見募集を実施した。

この結果を踏まえ、資料1「福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）素案に対するご意見と当会議の考え方について（案）」に示すとおり、福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）素案の一部について修正のうえ成案とし、決定することとしたい。また、決定後、本成案について福岡空港調査P I有識者委員会の評価等を受けるため、同委員会に対し、福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）策定に係る一連の連絡調整会議関係資料を付して送付することとしたい。

資料1 ... 福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）素案に対するご意見と当会議の考え方について（案）

資料2 ... 福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）案

福岡空港調査 P I 実施計画（ステップ 1）素案に対する  
ご意見と当会議の考え方について（案）

検討の第 1 ステップ「課題と実現すべき政策的目標」に対応する P I の実施計画については、空港利用者をはじめ幅広い市民等のご意見を反映しつつ検討するため、第 1 段階として P I に関するアンケートを平成 16 年 9 月 29 日から 10 月 18 日（インターネットは 20 日）まで実施し、いただいた 677 名の方の回答を踏まえ、素案を作成しました。その上で、今回、第 2 段階として当該素案について平成 16 年 11 月 11 日から 12 月 10 日までの間、ご意見の募集を実施しました。

その結果、125 名（3 団体含む）の方から 233 件のご意見をいただきました。ご意見の内容は、別添 1、2 のとおりですが、実施計画について評価のご意見をはじめ、時間管理（全体プロセスの迅速な実施等）や情報提供へのご要望（分かりやすさ、具体的な情報の種類）、留意点（マスメディアの利用、収集した意見の取扱い）などのご意見が寄せられました。

福岡空港調査連絡調整会議としては、それらのご意見を精査した上で、別添 2 に考え方を示しておりますが、それらのご意見は、概ね、P I 実施にあたっての姿勢や留意点、P I 実施に先だって作成する P I レポートのあり方等について、ご指摘をいただいたものであります。

従いまして、実施計画素案については、分かり易く構成を変更するとともに、空港利用者への情報提供などの新たに検討すべき事項や素案の表現では誤解を招く可能性のある箇所について修正を加えた上で、成案としたいと考えております。

今回、いただいたご意見や P I アンケートの結果などを踏まえて、来年度予定している第 1 ステップの P I の実施に際し、皆様の信頼を得られるよう鋭意努力して参りたいと考えております。

（素案変更箇所）

- ・全体の構成を分かり易く変更。
- ・表「ステップ 1 の手法と実施期間」の空港利用者、福岡空港に関心を有する個人等に対応する手法について、説明会の参加が可能であることを明示。また、同ページのインフォメーションコーナーについて、空港での実施を検討することを明示。その他分かりにくい表現等について変更。

別添 1 ... いただいたご意見等の概要

別添 2 ... いただいたご意見の内容とご意見に対する考え方

< 参考 > ... 「福岡空港の総合的調査に係る P I 実施計画」作成にあたっての意見収集アンケート結果

## いただいたご意見等の概要

実施期間	2004年11月11日～12月10日
配布方法	空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関HPによる募集、郵送等
回収方法	郵送、ファックス、電子メール
回収数	125名      ご意見 233件

1 福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）素案に関するご意見 115件

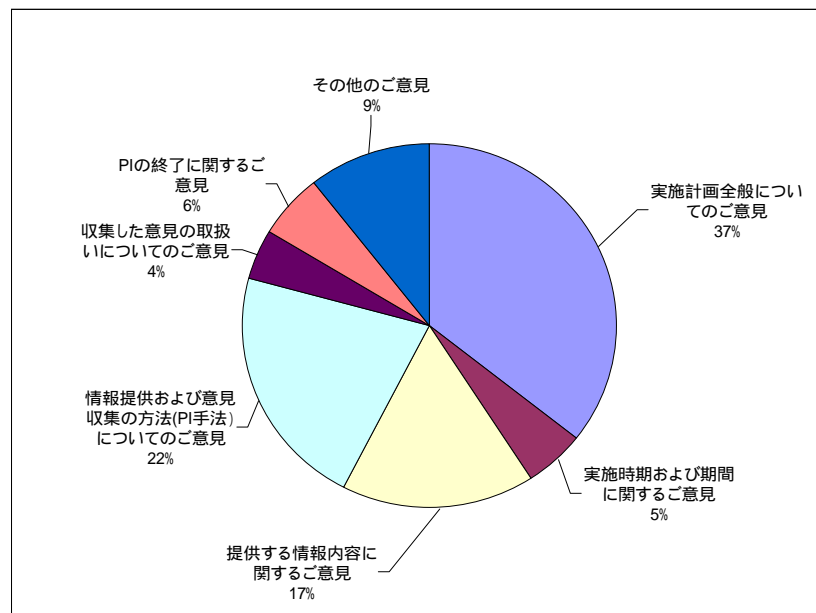
別添2において、ご意見と当会議の考え方をお示ししています。

- （主なご意見）
- ・素案の内容を評価するとのご意見。（27件）
  - ・素案の内容等についてもっと分かりやすくすべきとのご意見。（10件）
  - ・PIの取り組み自体に疑いがあるとされるご意見。（3件）
  - ・PI実施期間に関して、速やかに実施し時間管理すべき、また、逆に時間をかけるべきとのご意見。（6件）
  - ・情報の内容について、分かりやすく、適切な方法で提供すべき、また、福岡空港以外の空港（計画中含む）の状況や現状、課題等の詳しい情報を提供すべきとのご意見。（10件）
  - ・多くの方が参加できるよう様々な手法を実施すべき、特にマスコミ等のメディアを活用すべき等のご意見。（14件）
  - ・PI手法について、空港利用者の意見を重視すべき、また、利用者でない方の意見も幅広く聞くべきというご意見。（11件）

2 福岡空港の総合的な調査に関するご意見 118件

別添2参照

## 3 福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）素案に関するご意見の分布（グラフ）



## 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案についていただいたご意見の内容とご意見に対する考え方

ご意見の内容	考え方
PI実施計画についてのご意見	115件
実施計画全般についてのご意見	43件
<p>(PI実施計画素案を評価するとのご意見 27件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本素案については良いと考える。</li> <li>・素案は、漠然として理解し難い部分もあるが、進め方としてよいのではないかと思う。</li> <li>・素案については十分と思う。</li> <li>・素案はよくまとめであると思う。</li> <li>・ステップ1の素案とてもよいと思う。</li> <li>・どのような賢明な施策にも反対はつきものであり、幅広く各分野にわたり、意見収集する等、的確な第1ステップと思う。</li> <li>・素案の内容・手続については、これで良いと評価する。</li> <li>・福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案は、精緻によくできていると思う。</li> <li>・おおむね良い案。</li> <li>・大変良い計画や方法がとられるようで嬉しく思う。今後の情報を楽しみにしている。</li> <li>・幅広く市民の意見を聞く姿勢は高く評価できる。情報公開、透明性の向上は、人口島問題もあり、福岡市民には見逃せない点であり、今後の公共事業のあり方の指針となる様努力してもらいたい。</li> <li>・PI方式およびプロセスについて、賛同、理解した。望ましい空港のあり方を探究するのに必要なデータや各方面のニーズ、利便性や安全、財政面からの検討、そして将来を見据えた都市戦略も加え最善の姿を全体で考えていきたい。</li> <li>・先の知事選挙の際に、新宮町沖に新空港をとの声が大きくなり、一度始まると採算や市民のことなどお構いなしで進められていく過大公共事業の怖さを感じていたので、今回改めてこのような実施計画が進められていくことになり、よかったと思っている。</li> <li>・有識者の意見のみならず、利用者や市民を含めた幅広い意見を取りまとめ、福岡空港のあり方の検討に反映するというPI活動の主旨に感動した。調査情報や参加者の意見をホームページ等で公表するなど、容易に情報を入手出来る環境づくりに、開かれた活動であると信頼を持てる。</li> <li>・市民の声を聞きながら大きな計画を前向きに進めて行く方法はとても素晴らしいこと。ただし、あまりいろんな所でいろんな人から意見を聞きすぎても、まとめるのに大変ではないか。</li> <li>・素案を確実に実施してもらえれば、何も意見はない。ただ、意見を聞くだけの機関にはならないでほしい。今の空港は本当に便利で利用しやすい。</li> <li>・立派な素案だと思う。このとおりに取り進めて欲しい。公正・中立的な視点で、情報はすべて公開し、一般市民にも分かるように分かりやすく公表・説明をお願いする。特定の政党・業界・団体等の圧力があることも想定されるが、そうしたものは絶対に排除して進めてもらいたい。</li> <li>・実施計画の内容に関しては、特に申し上げるべき事項はない。素案の内容を透明性を保って県民、市民の民意が最大限に生かされるよう、十分に時間をかけて、検討を進めてもらえればと考える。</li> <li>・計画にあるように中立・公正に行われれば、本当に良いことだと思う。これまで、住民に広く意見を聞くということが、パフォーマンスで、上部ですでに決定されていることを実行するために住民が利用されていた感がある。厳しい経済状況の中、今回は是非そういうことがないようにしてもらいたい。子供達につけを回さないよう宜しくお願いする。</li> </ul>	<p>福岡空港の将来の混雑問題など様々な課題について検討する総合的な調査は、福岡空港が国内外の交流拠点として、社会的、経済的に大きな役割を果たしており、国にとっても、地域にとっても極めて重要な調査です。</p> <p>そのため、この福岡空港の重要性や影響範囲の大きさ、多面性、また公共事業に求められる透明性や説明責任の遂行等を踏まえ、この調査を進めるにあたり、幅広い市民等の皆さんと情報を共有し、幅広くご意見をいただきながら検討を進めていくパブリック・インボルブメントの手法を取り入れることとし、平成16年6月に「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(Pi計画)」を決定、公表いたしました。</p> <p>今回ご意見をお伺いしたPI実施計画(ステップ1)は、先の計画の中で明らかにした「基本的なところから段階を踏んで進めていく」検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」に対応するPIを実施するための計画です。</p> <p>この最初の段階のPIを進めていくに当たっては、十分な周知広報に努めると共に皆様の信頼とご期待に応えられるよう、鋭意努力して参りたいと考えております。皆様におかれても、福岡空港の重要性等をご理解いただき、幅広くご参加いただくようお願い致します。</p>



ご意見の内容	考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港調査にあたり、PI計画の採択は全面的に賛成する。</li> <li>・国際空港移設で(性急)すぎた為の失敗、PIは大いに結構。</li> <li>・福岡空港をより多くの人に利用してもらい、より良く活用してもらうためにも、PIは必要だと思う。現在利用している人の意見を聞くことはとても大事だと思う。これからも皆様の意見を反映して頑張ってもらいたい。</li> <li>・今回の調査にPI手法を導入したことについては、基本的に同意する。しかし、その趣旨(透明性の確保、客観性の担保等)が遵守されなければ、市民参画の形式を採るだけに、「始めに結論ありき」を押しつける隠れ蓑として作用しかねない危険性がある。この危惧を払拭するための最大限の配慮を求める。</li> <li>・新空港ありきにならないように、急がず広く深く意見を反映するものにしてもらいたい。</li> <li>・計画倒れにならないようにいつも初心に戻って計画を実行に移してもらいたい。</li> <li>・地域住民とのコミュニケーション不足と空港事業の不透明性は常々考えていた。</li> <li>・税金を使った大型プロジェクトが、知らないところで勝手に進み、一部の方々がどんなに反対したところで全く無視される状況を遺憾に思っている。終わってからではどうにもならない。空港の問題も知り、この件は1部の私利のためでなくぜひ市民の意見を反映させてもらいたい。</li> </ul>	
<p><b>(PI実施計画素案について分かり易くすべきのご意見 10件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PI実施計画素案は長くて読みにくい。</li> <li>・素案の内容について、もっと分かりやすい資料を作ってもらいたい。</li> <li>・内容が難しい。</li> <li>・内容が、レベル的に難しく、くどい、もっと簡潔にまとめて欲しい。</li> <li>・福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)素案を読んだが、難しく理解できない。</li> <li>・素案は、一読するだけでは難解。もっとわかりやすくすべき。</li> <li>・少し理解しづらい内容になっており、かなりむずかしい。分かり易く簡潔な内容にした方がよい。こういう素案では、読破するのはかなりむずかしいものと思う。</li> <li>・わかりやすい言葉で表現(文章構成も含め)願いたい。また、進め方について聞きたいのか、内容についてなのか、何を求めているのか明確にして欲しい。福岡空港をよく利用しており、そこそこの関心がある。よりよい活動になるよう期待している。</li> <li>・素案を読んだが、何について意見を述べるのかが、よく理解できない、もっと意見を述べるべきポイントを明確にすべき。</li> <li>・素案の内容について、何を聞きたいのか、どういう意見を求めているのか、具体性がなく、漠然として良く理解できない。</li> </ul>	<p>PI実施計画は、PIを実際に行うに当たって、どのような内容について、具体的にどのような方法で情報提供・意見収集を行うかなどを明らかにするために作成したものです。</p> <p>そのため、具体的な内容や手続きについて、PI計画の紹介から細かく説明を加えたこともあり、ご指摘があったものと考えます。そのため、全体の構成や表現について分かり易く変更しました。</p> <p>また、今後、この計画が第三者機関(福岡空港調査PI有識者委員会)の評価を経て確定次第、多くの皆様にご承知いただくため、福岡県、福岡市の情報提供窓口やホームページ等を通じてお知らせすることとしておりますが、その際には、この実施計画とともに内容をできるだけ分かり易く解説したリーフレットを作成したいと考えておりますので、よろしく願い致します。</p>
<p><b>(PI自体に疑いがあるのご意見 3件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の意見を求めたいのか、意味が分らない。このような調査(意見募集?)でPIを果したという免罪符を受けた、儀式をしたと思われては、非常に困る。税金のムダ。資料が多過ぎる。</li> <li>・パブリック・インボルブメントという概念はわかりにくいのではないのか。その内容の持つ積極性にも共感しにくいのでは、基本方針の情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施とあるが、法的に義務付けられた情報公開よりも積極的な情報提供を重視しているようだが、情報公開がスムーズに実施されれば、それでよいと考える。また、市民等との多重多層のコミュニケーションは言葉の遊びに聞こえる。</li> <li>・今までの政治のあり方を見ていると、福岡空港問題についてもやはり、結論は分かっているがまことしやかに、民主主義の段取りをふまえて(PI実施計画)進行させていることに、疑問を抱く。</li> </ul>	<p>平成16年6月に公表しましたPI計画は、福岡空港の重要性、これまでの検討の経緯等から、総合的な調査を進めるにあたっては、幅広い皆様との間で、情報公開にとどまらない積極的な情報提供や意見収集を実施していくことが必要であるとの認識のもとに策定したところです。</p> <p>今回のPI実施計画においても、この基本認識のもと、検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」についてのPIを実施するに当たってのアウトラインを明らかにしております。</p> <p>今後、実際のPI実施に当たって、この計画に基づいて、開かれた形での議論を積み重ね、皆様の信頼を得るように、進めていきたいと考えております。</p>
<p><b>(PIという用語がわかりにくいのご意見 3件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PIというタイトルは、ほとんどの人に馴染みのない略語であり、敬遠するのではないのか。情報を提供し意見を収集して検討し要約していくつかの方向にまとめるのが目的のようだが、馴染みの無い言葉を使うのは効果的でないと思う。</li> <li>・PIなどという横文字は使わないこと。</li> <li>・PIとパブリック・コメントの違いは。</li> </ul>	<p>PIとはパブリック・インボルブメントの略であり、直訳すれば、市民参加、市民参画などとなりますが、「市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス」という主旨をすべて含んだ言葉が現在の日本語にないため、PIという言葉を使用しております。ご理解をお願い致します。また、PIとパブリック・コメントの違いについては、パブリック・コメントは、PIにおいて実施する情報提供・意見収集の一つの手法として位置づけられているものです。</p>

ご意見の内容	考え方
<b>実施時期および期間に関するご意見 6件</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・余りダラダラと年月を延ばしていると関心も遠のくので、すみやかに進めてもらいたい。</li> <li>・PIの実施期間3ヶ月程度について、幅広く、多くの市民の方に新空港建設の理解を深めるため、期間を6ヶ月程度に延長できないか。</li> <li>・ステップ1から4まで可能な限り早く終了して具体的な動きにつなげてもらいたい。</li> <li>・素案はすばらしいと思う。しかも、ステップ4まであり、十分手順を踏んでいる。市民等が十分納得できる案の策定を期待している。ステップ4までの策定があまり長時間にならないようにすること。</li> <li>・素案そのものは解り難いが、国の財政事情等から細かい段階を踏まえないければならない事情は理解できる。福岡空港は早急に移転拡張しなければ、将来に禍根を残すことは大方が認める多数意見であり、早く結論を出せるように意見を集約してもらいたい。</li> <li>・PI実施計画全体の行程表の作成が必要。PI活動は時間を要する作業であり時間管理が重要。現在の福岡空港の状況からすれば、早急な対応に迫られているが、PIが終了し、一定の方向性が示され、それが政策に反映され実行されるとなれば、相当な期間が経過することとなる。今回のステップ1の実施期間だけでなく最終ステップまでのおおまかな期間目標は設定されてしかるべき。</li> </ul>	<p>PI実施期間については、第1ステップが今後の検討のベースとなる基本的な情報を的確にお知らせするという性格などを考え、皆様の関心と参加が得やすいように一定期間に高い密度で情報提供等ができるよう、概ね3ヶ月程度としておりますが、どの段階で終了するかどうかは、PIの実施状況等を踏まえて、総合的に判断することとしております。</p> <p>また、実施計画で準備期間としておりますが、この実施期間3ヶ月より以前の段階でも、提供情報の準備が整い次第、迅速に皆様にお知らせすることとしております。幅広い皆様からご意見がいただけるよう適切な時間管理のもと実施したいと考えております。</p> <p>全体を通しての期間についても、PIを実施しながら調査検討を進めていくことから、明確な期間を示すことは困難ですが、適切な時間管理のもと、迅速な情報提供、意見収集、時期を失しない判断などに努めて参りたいと考えております。</p>
<b>提供する情報内容に関するご意見 19件</b>	
<p>(ステップ1で提供する情報についてのご意見 10件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題と実現すべき政策的目標」といわれても意味が理解できない。普通の人に理解できる表現の仕方をもっと工夫しなければ一部の有識者の意見のみで民意の反映にはならない。</li> <li>・現福岡空港のみならず、佐賀空港、新北九州空港、仁川空港等の現状、課題も情報提供のこと。とくに福岡・佐賀両県知事、福岡・北九州両市長、韓国・釜山・仁川等の首長の意見も知りたい。</li> <li>・提供情報の11ページ表中の、(例)国内外の空港の状況について、( )書きで、「とくに近隣の空港にあっては既存空港だけでなく計画中の空港を含む」と明記してもらいたい。</li> <li>・福岡空港は既に過密状態にあると思われるので、情報提供については、現状、課題等を詳しく提供してもらいたい。</li> <li>・空港整備特別会計と利用者負担(公租公課を含めて)の情報を開示すべき。</li> <li>・「課題と実現すべき政策的目標」について、空港 = 飛行機に乗る際にのみ、利用するという感覚では、事業としての先行きが見えている。普段の生活により近く、おしゃれで楽しいスポット、スペースなどのイメージや空間づくり等が求められている時代という視点が必要では。</li> <li>・PI実施計画の概要、おおそ把握出来たが、一読しただけでは理解しづらい。わかりやすい情報の提供を基本方針に掲げるのであれば、わかりやすく簡潔なものを作成してもらいたい。例えば既存ストックの有効活用などの表現も一見では理解しづらく、補足をつけるなり、最初からわかりやすい表現のみで説明するなど工夫が必要。その方が、フィードバックも多いのでは。</li> <li>・PIでの提供情報(11ページ)の内容が早くほしい。</li> <li>・どのようにわかりやすく公開(情報提供)できるのかよく分からない。</li> <li>・素案については、概ねわかったが、わかり易い情報の提供をしてもらいたい。</li> </ul>	<p>検討のステップ1「課題と実現すべき政策的目標」は、福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等、今後の検討の基本となる事項、情報について提供し、皆様と共通のベースをもつことを目的としております。</p> <p>内容的には、「福岡空港の利用状況、問題、課題」「航空を取り巻く情勢」「航空サービスの考え方」「福岡空港の能力」など、今の空港がどのような状況にあり、どのような能力を持つのか、また、どういったサービスを空港という交通施設として基本的提供すべきかなどの調査検討を今後進めていく際に最も基本となる情報を提供する予定としております。</p> <p>この情報を提供する際には、関係の調査報告書等をお示しするだけでなく、分かり易く取りまとめたPIレポートとして提供することとしております。また、このPIレポートを要約したパンフレット等も合わせて提供したいと考えております。このPIレポートの取りまとめにあたっては、皆様から見て分かり易く、且つ正確、客観的な情報を提供できるよう、表現や注釈等も含め鋭意工夫していきたいと考えております。</p> <p>また、「航空を取り巻く情勢」に関わる情報につきましては、航空、空港に関わる情報でこれからの議論の基礎知識として必要と考えられるものを提供することとしております。</p>

ご意見の内容	考え方
<p><b>(ステップ2以降に提供する情報についてのご意見 8件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港と新北九州空港を一体化した空港能力の見極めがほしい。</li> <li>・福岡空港の現状・課題・能力の検討については、北九州空港、佐賀空港についても、同一レベルの検討を要するのでは。</li> <li>・費用対効果を開示すべき。</li> <li>・地方財政自立のために、中・長期の施策、対策の情報開示をすべき。</li> <li>・PI実施計画(ステップ1)の「課題と実現すべき政策目標」として、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等についての検討があげられているが、利用者は、当然、利便性、安全性、低料金などの航空サービス向上を望む。しかし、航空問題は利用者だけの問題ではなく、空港や航空機による自然環境や生活環境への負荷は、県民・住民に関わる重要な問題である。評価基準は、利用者の視点に立った航空サービスに矮小化するのではなく、広く一般県民・住民に福岡空港のあり方について意見を求めたうえで、福岡空港の評価基準にすべき。ステップ1に、このような取り組みを加えるよう求める。</li> <li>・今後具体的な提起・発案についての議論が予想されるが、情報公開にあたっては、特にメリットだけを強調することなく、デメリットもきちんと提示することを求める。</li> <li>・課題と実現すべき政策的目標のなかで、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価等基準等について検討とあるが、空港近隣市民への騒音、危険性などへの対応や空港の廃止も検討内容に含めるべき。</li> <li>・提供される情報が、きわめて不十分。空港を廻る問題を考える場合、地球的視野に立ったマクロ的視点と福岡空港をとりまくミクロ的視点に立った考察の双方が検討されなければならないが、マクロ的視点があったく欠如している。地球規模での環境保全と航空機による大気汚染の関係に着眼しての検討や、エネルギー消費の観点から航空機の位置づけを明らかにする検討も行われるべきである。また、国として総合的な交通体系の中で航空事業はどのように位置付けられるべきかについて検討が加えられなければならない。それに対して明確なものが策定されなければ、調査会でそれに代わるものを県民の前に提示するべきである。</li> </ul>	<p>福岡空港の総合的な調査の検討の進め方につきましては、平成16年6月に公表しました「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(PI計画)」のなかでお示ししているとおり(今回の実施計画の参考の1、福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(PI計画)の概要参照)、4つの段階(ステップ)を踏んで進めることとしております。</p> <p>具体的には、第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」、第2ステップ「対応策検討の前提条件」、第3ステップ「評価の視点と検討すべき対応策」、第4ステップ「対応策の比較評価と方向性(案)」のステップに沿って進めることとしており、調査の進捗を勘案しながら、それぞれのステップ毎に必要な情報を取りまとめて提供していくこととしております。</p> <p>今回以降のステップにおいて、福岡空港のあり方や近隣空港との関係、様々な対応策や対応策をどういう視点で評価するかなどについても順次検討していくこととなりますので、それぞれのステップの前にお示しする実施計画において、たくさんのご意見をいただきますようお願い致します。</p>
<p><b>(その他のご意見 1件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供される情報の内容については、事前に第三者機関の評価が必要ではないか。情報の内容、記述の仕方によって受け取る側の印象はかなりの影響を受ける。提供する情報については客観的な事柄、実態を記述することを原則とし、その内容について事前に第三者機関の評価を得ておく必要がある。</li> </ul>	<p>提供する情報の内容については、第一義的にPI実施主体が責任を持つこととなります。この提供する情報について、正確かつ客観的内容であることは当然のことであると認識しております。</p> <p>第三者機関(福岡空港調査PI有識者委員会)は、PI実施主体と市民等の皆様との間のコミュニケーションが十分であるか、適切な対応が取られているか等、PIのプロセスのあり方について、客観性、中立性をもって監視する機関として評価や必要な助言等を行う役割を担います。</p> <p>また、分かり易く取りまとめたPIレポートを提供することとしておりますが、その際には、そのもととなった調査報告書などについても、ホームページや福岡県、福岡市などの情報提供場所において公開し、透明性を確保することとしております。</p>

ご意見の内容	考え方
<p><b>情報提供および意見収集の方法(PI手法)についてのご意見 25件</b></p>	
<p><b>(PI手法についてのご意見 14件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空港新設、拡張には、利害が絡むため、成田空港問題、関西空港・大阪空港併立問題を生きた教材として十分に参考にし、「現状説明」や「将来計画」に、十分期間をかけ、現地説明会、地域説明会方式、パネルディスカッション方式、メディア活用などにより、意見・要望集約に努めることを要望する。</li> <li>・情報公開については、ホームページを開けない人も多いことから、あらゆる方法で適切に願いたい。</li> <li>・PI手法やプロセス、公正中立性などPIに関する情報をもっと知りたい。</li> <li>・PI計画のあり方はとてもよいと思うが、もっと広く福岡・九州の市民に知ってもらい、意見をいただきたいなら、マスコミ(TV、新聞)で老人・若人にも理解してもらえるよう、もっとわかりやすく、利点と欠点を出してほしい。</li> <li>・都合の悪い情報は隠し、都合の良いもののみ出して、世論を操作することがないように(とくにメディアを介して)してもらいたい。</li> <li>・県民一人ひとりの意見がどれだけ集まるかは、調査計画自体がどれだけ世間に認知されるかによって大きく影響されるものと思う。そのため、報道機関への情報提供及びマスメディア(とくにテレビ)による広報は、継続的・大々的に行うべきではないかと思う。</li> <li>・ステップに分ける試みは評価するが、PI手法の内容が今までと大差ないのではないかと、テレビを使うなどすべき。</li> <li>・新空港ありきではないかとの疑念がある。透明公正にするのであれば、テレビでリアルタイムのアンケート等を実施して、新空港への賛否の意見を聞けばよいのでは。</li> <li>・これからPIのプロセス段階の情報の発信、意見の収集が行われるわけだが、新聞、テレビ等のメディアによる評価など、一般市民に大きな影響を与えている意見については、慎重に取り扱ってもらいたい。マスコミの意見が市民の意見と誤解されやすいので、フィルターを通らず生の意見が聞ける体制をお願いしたい。</li> <li>・市民への情報の開示については、ホームページとオープンハウスで十分であり、お金をかけてインフォメーションコーナーを作る必要はないと思う。仮に作っても、活用度は低いものと推測される。それよりも、福岡発着の全便の機内に、このことに関するチラシやリーフレットを配布した方がよいと思う。また、ミーティングについては、空港利用者にはサラリーマンも多いので、土曜日が日曜日にして頂ければと思う。</li> <li>・意見収集の方法がいくつかあるが、内容が同じか、またどのような時期に行われるのかよく分からない。</li> <li>・何か事が起ったら福岡空港廃止論が優勢になることがある。状況により、投票は思いもしない結果になる事があり、十分留意が必要。</li> <li>・空港の見学会には、佐賀空港、新北九州空港等も入るのか。</li> <li>・見学会の開催について、県内及び近くの近隣空港の現状を把握することで、新福岡空港の有り方に参考になる意見を求めることができるため、福岡空港のみでなく、北九州・佐賀空港も対象に実施できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡空港の総合的な調査に係るPIに関しましては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ、多面性等から、幅広く多様な手段で幅広く情報をお伝えし、ご意見をいただくことがまず重要であると考えております。</li> <li>今回のPI手法選定に当たっても、今回のPIが今後の検討の基本となる事項、情報について提供し、皆様と共通のベースをもつことを目的としていることを念頭に、情報を正確、十分に、幅広く伝達し、意見収集できる手法を選定したところです。</li> <li>具体的には、情報を提供する際には、関係の調査報告書等をお示しするだけでなく、分かり易く取りまとめたPIレポートやこれを要約したパンフレット等により分かりやすい情報の提供に努めると共に、その伝達方法についても、PIレポート等基本情報については、福岡県、福岡市の情報提供窓口や公共交通機関での配布、自治体への配布のお願い、ホームページでの公表など、様々な形で容易に入手できるよう考えております。</li> <li>また、まとまった情報伝達や意見収集が可能ではあるものの範囲が限られる説明会やオープンハウス等については、県内複数の場所で開催し、さらには、県域に縛られず幅広く伝達するために、ホームページの活用や空港、駅等での資料配付等を取り入れるなど、全国にお住まいになる空港利用者をはじめ県民、市民、また、県域にとらわれない参加者を想定した手法を選定しております。</li> <li>マスコミ等メディアの活用につきましても、報道機関に対する適宜の情報提供に努めると共に、関係行政機関が有する広報メディアを活用するなど、十分配慮しつつ、対応して参りたいと考えております。</li> <li>具体的な日時等の設定につきましては、この実施計画確定後に準備作業を進め、決定していくこととなりますが、その設定に際しては、先に行ったPIに関するアンケートを参考にしながら、週日に拘らず柔軟に対応して参りたいと考えております。</li> <li>また、今回の見学会につきましては、総合的な調査の最も基本となる情報である福岡空港の現状と課題を把握いただく一環と考えており、福岡空港を対象に考えております。</li> </ul>

ご意見の内容	考え方
<p>(PI参加者についてのご意見 11件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PI手法では、地元住民の意見を聴取することはもちろん、利用者の意見を十分取り込む必要がある。とくに、地元在住者のみではなく、広く大きな視野で次世代も利用できるように、他からの利用者、国外(特にアジア)からの要望も収集する必要がある。</li> <li>PI手法の説明会、懇談会の対象に空港利用者がなっていないが、空港利用者は受益者として、レベルが高いと感じる。参加できるかどうかは別として、対象を限定するべきではないと思う。場所は特定限定しても、対象は限定しなくてもよいと思う。</li> <li>現に空港を利用している人にPIに参加してもらう最大の努力をすべき。机上論、理想論では、利用増大は望めない。</li> <li>空港利用者が利用しやすい空港づくりを、利用者の意見が一番参考になる。</li> <li>隣接県市民(佐賀県・北九州市等)福岡県、福岡市に居住する以外の人々からの意見収集は行うのか。また、どのような方法で行うのか。</li> <li>近隣空港には佐賀空港も含める必要があると思うが、そうすると佐賀県民の意見も聞く必要がでてくると思う。</li> <li>(参考資料2 PI手法の概要)PI手法の参加者については、全ての県民及び近隣住民であるべき。北九州市民にとって、2006年3月開港予定の新北九州空港と福岡空港の将来がどうなるかは、最大の関心事であることを忘れないでほしい。</li> <li>想定するPI参加者に福岡空港に関心を有する...とあるが、地方の人は福岡に関心があり福岡に来るのではないか。交通手段は、飛行機、新幹線、車の選択肢があり、その事業者(国交省道路局、JR、西鉄等々)も対象とすべきではないか。</li> <li>空港は利用者だけのものではない。すべての国民にかかわるものである。したがって、利用者の意見を聞くことは必要であるが、空港のあり方をどうするか判断は、国民多数の声に従うことは当然である。</li> <li>PI参加者として、空港用地の土地所有者の意向をどう位置づけているか教えてほしい。</li> <li>福岡空港は、市街地にあり利便性が極めて高い。また、同時に周辺住民に対する影響も大きい。今回のアンケート内容等は空港及びその利用者の立場に片寄っている様に思われる。空港能力、及びサービス向上と地域との共存の条件を求める方策を探したい。</li> </ul>	<p>福岡空港の総合的な調査に係るPIに関しましては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ、多面性等から、幅広く多様な手段で幅広く情報をお伝えし、ご意見をいただくことが大事であると考えております。</p> <p>そのため、空港を利用される方のご意見はもちろんですが、交通事業者、福岡空港の周辺地域住民、空港を利用されない方などのご意見も大事であると認識しております。また、その範囲についても、県域に拘らず幅広く考えていくことが大事であると考えております。このことを踏まえて、場所が特定される手法から、ホームページの活用や多様な地域からいらっしゃる方も考慮した空港等での資料配付まで、県域内はもちろんのこと、県域以外の空港利用者等にも幅広くご参加いただけるよう、多様な手法を選定したところです。</p> <p>説明会等場所が特定される手法については、当該地域在住の方の利便を第一に考えて実施することにはなりますが、他地域、また県外の空港利用者等の参加もできるよう、範囲を限定しない方向で考えております。この点実施計画素案の該当欄の記載を誤解しないよう変更させていただきました。また、インフォメーションコーナーの設置箇所についても、福岡空港での設置に関し検討させていただきたいと考えています。</p> <p>今回、実施計画に計上した手法のうち、特に場所を特定する手法については、具体的な実施場所や日時について、この実施計画が確定した後、関係機関と協議調整する必要があり、今の時点では確定していませんが、確定次第取りまとめて迅速に情報提供し、より多くの皆様にご参加いただけるよう努めて参りたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
<b>収集した意見の取扱いについてのご意見 5件</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約された意見に対するPI実施主体の考え方、対応の公表に対する意見の提出はあるのか。</li> <li>・とり上げることのできない意見などに対しては、なぜ”NO”なのかの理由も丁寧に示してもらいたい。</li> <li>・本当に市民の意見が取り入れられるかどうかの検証を入れるべき。</li> <li>・PIの運用にあたっては、とりわけ幅広く収集した市民の意見を検討に反映していくためのルールを明確に公開することを求める。国・県の様々な分野での公聴会や意見聴取などが、聞き置くだけの、あるいは主催者に都合のよいものだけのツマミ喰いであった経緯を、国民・県民はいやというほど知っている。調査に関わって寄せられる市民からの資料提供や情報提供には誠実に応えるよう要望する。</li> <li>・意見の集約、反映については、公共事業へのアレルギーや反対される方の意見に偏らないよう配慮してもらいたい。</li> </ul>	<p>収集したご意見については、どのようなご意見が出ているのか、随時、皆様に公表し、また、必要な対応については迅速に対応するとともに、これも公表するなど、意見収集の過程でも透明性を確保することとしております。</p> <p>また、ご意見の提出状況や内容等から判断してある程度ご意見が集約されたと判断された段階では、ご意見とそのご意見に対するPI実施主体としての対応方針や考え方を取りまとめ、これについて、パブリック・コメントの手法により再度ご意見をいただく方向で考えております。</p> <p>その上で、PI実施主体として、必要な対応を実施し、ステップ1を終了するかどうか判断し、終了して良いと判断した場合に第三者機関に報告書を提出し、皆様のご意見やそれに対するPI実施主体としての対応方針などについて、第三者機関の目で、再度、点検、評価していただくこととなります。これらの過程も、ホームページ等を通して公表しながら進めていくなど、透明性を確保していくこととしております。</p> <p>ご意見は多種多様に及びまた予め想定できるものではありませんので、どういった意見であればどう対応するといった基準をお示しすることは困難ですが、前述のように透明性を確保していくことで、皆様から信頼していただけるPIを実施していけるものと考えております。</p>
<b>PIの終了に関するご意見 7件</b>	
<p>(PIの終了についてのご意見 1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のステップへ移行するかどうかの総合的な判断の指標は何か、定量的な判断なのかよく分からない。</li> </ul>	<p>まず、ご意見の提出状況や内容等から、情報が十分に周知されたかどうか、また、意見が幅広く収集されているかどうかなどをPI実施主体として判断し、ある程度集約されたと考えられる段階で、いただいたご意見とご意見に対する対応方針、考え方等を公表し、パブリック・コメントの手法により再度ご意見をいただきます。その結果を踏まえて、PI実施主体が第一義的に終了するかどうかについて判断します。その上で、第三者機関の点検、評価をいただくこととなります。</p> <p>この第三者機関の評価を受けて、その内容や当該ステップのPIの性格、次以降のステップとの関連等を総合的に考慮し、最終的な判断を行うことを考えております。多種多様なご意見が想定されるなか、定量的に計るのではなく、パブリック・コメントでいただくご意見や第三者機関のご意見など様々な要素を勘案して、判断していくことが必要であると考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
<p><b>(第三者機関(福岡空港調査PI有識者委員会)についてのご意見 6件)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者委員会の委員選任者は誰が行うのか。</li> <li>・福岡空港調査PI有識者委員会の委員選出方法(案)について、利害関係者を除外しては決定後又揉めるのではないかと、反対意見を勸告し説得する案を作る必要があると思う。</li> <li>・第三者機関「福岡空港調査PI有識者委員会」の委員についても、公募や住民団体の代表を採用することによって、透明性、客観性、公正性を高めてもらいたい。</li> <li>・第三者機関への市民代表の公募選出もPIの趣旨に照らせば当然であり、その実現を求める。</li> <li>・有識者委員会に、空港周辺地域の実情を知る人間を委員として入れるべき。</li> <li>・有識者委員会にマスコミ・ジャーナリズムの有識者が必要か、広告のことが頭の片隅にあり、マスコミ関係者は、ハクがつくように見えるが、有識者にマスコミを加えたがる団体には胡散臭さを感じる。</li> </ul>	<p>第三者機関(福岡空港調査PI有識者委員会)は、PI実施主体と市民等の皆様との間のコミュニケーションが十分であるか、適切な対応が取られているか等、PIのプロセスのあり方について、客観性、中立性をもって監視する機関として設置(平成16年12月9日)したものです。</p> <p>また、この委員の選任に当たっては、当該委員会がPIのプロセスを監視する役割を持つこと、実際のPI監視活動等に際して、迅速性、機動性等が求められることなどから、空港計画や、PI、法制度、マスコミュニケーションなど、プロセスの監視に関連する専門的な知見を有する有識者をお願いするのが適当であると判断し、事前に委員会の役割や委員選定の考え方について公表(平成16年9月22日連絡調整会議幹事会)した上で、選任させていただいております。</p> <p>平成16年12月9日に開かれた第一回福岡空港調査PI有識者委員会において、関係行政機関と一定の距離を保って、透明、客観、中立的な機関として活動すること、会議についても一般傍聴も含めて原則公開とするなど開かれたスタンスの委員会とすること等が確認されたところであり、皆様のご信頼に足る活動がなされるものと考えております。</p>
<p><b>その他のご意見 10件</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップの区分け等についても、パブリックの意見を入れるべきではないか。また、パブリックの定義と何を期待するのかをもっと明確にすべき。物理的な最適設計に加えるソフトとしての意見を募るのか、事業推進や用地運営・管理の協力を得やすいような環境創出としての立場なのか、多数他項目のアンケート方式の調査がまず必要と考える。</li> <li>・Step2は不要。公共工事の場合、常に前提条件が問題になるが、少しの変更でも大きく結果が変わる。希望的観測での前提条件であれば、失敗した(成功しない)場合、誰が責任をとるのか。</li> <li>・実施計画には特に意見はない。時々空港を利用しているので、福岡空港については関心を持っている。今後は個人の視点から総合的に理解していきたいと思う。</li> <li>・調整会議等委員には飛行の嫌いな人や旅行の嫌いな人は入れないほしい(とくに年配の人)</li> <li>・HPの構成がわかりにくい。素案にたどりつくまで多くのクリックが必要。これではPIとは言えない。</li> <li>・福岡市担当部局が「空港推進担当」というのは始めから「推進ありき」では、</li> <li>・もっと具体的な実施計画でないと意見を述べにくい。</li> <li>・形式論にとらわれすぎている。素案を見ただけでは意見が書けない。</li> <li>・提案型の意見でないと自分には書きにくい。</li> <li>・何か手伝いができるならばとおもったが、30ページにも及ぶパンフレットをみて、官公庁の人・物・金の無駄使いを切実に痛感した。</li> </ul>	<p>この総合的な調査は、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ、多面性など、国にとっても、地域にとっても極めて重要な調査です。</p> <p>そのため、透明性、公正性を確保しながら、検討を進めるため、幅広い市民等の皆様と情報を共有し、幅広くご意見をいただきながら検討を進めていく「パブリック・インボルブメントの手法を取り入れることとし、平成16年6月に「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(PI計画)」を決定、公表したところです。</p> <p>今回ご意見をお伺いしたPI実施計画(ステップ1)は、この計画の中で明らかにした「基本的なところから段階を踏んで進めていく」検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」に対応するPIを実施するための計画です。</p> <p>この最初の段階のPIを進めていくに当たっては、実施計画で定める内容を踏まえ、皆様の信頼を得られるよう鋭意努力して参りたいと考えております。</p>

ご意見の内容	考え方
総合的な調査に関わるご意見	118件
総合的な調査全般に関するご意見	
<p><b>(総合的な調査全般に関するご意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港は年毎に手狭になることは明白、満杯になる前に、急ぎ対応を進めることが大事。</li> <li>・福岡空港は市街地のため、検討の余地はある。</li> <li>・福岡空港は、市街地にあるため、付近の人には騒音の問題がある、また、滑走路も短いのが1本という状況も改善してもらいたい。最近、東南アジアの便がなくなり、閑空などからの出発となり困っている。</li> <li>・福岡市の総合発展の見地からみれば、現空港は、福岡市の東に伸びる力を削いでいるため、規模縮小するか、ない方が好ましい。空港行政には総合的視野が欠落している。この行政リード型を打破しないと利用者にとって良い空港は造れない。</li> <li>・基本的計画(空港調査)を早期に完了し、情報を提供して欲しい。特に現状とその分析から現空港の増設(滑走路)、新空港建設いずれかの方向を示すべき。アジアに向けた空港のあり方と第1種空港の拡大を希望している。</li> <li>・空港問題については、国の基本方針を打ち出すべき。</li> <li>・東アジア、日本、九州の中での空港の位置づけを前提に取り組んでいく必要がある。国土から考えてもハブ化を目指すべき、その手法を具体的に、柔軟に考えていく必要がある。その場合、環境破壊を最小限度に抑える事は絶対条件であり、その為に予算がふくらむならば、その分の負担方法は別途市民も交えて広く検討・協力していくべき。現空港の拡大方法は、本当に無いのか、新方式(海上プロード方式)への挑戦の検討も含め、あらゆる方法を具体的に、個別に検討してみることが必要。</li> </ul> <p>・福岡空港は、自宅から近いので大変便利でありがたく思っている。反面、便利故に事故の心配も大きく、どのような対策が講じられるのか関心がある。広く意見を聞き、より安全、より便利な空港作りができますように思う。時々、出発ラッシュで遅くなることがあるが、移転は気になる。</p> <p>・上空から見ると飛行経路に市街地が迫っている。また滑走路が東南からの進入の場合は飛行経路が市街地の上になる。航空事故の多くは出発進入中に起こっており、現状では危険を内感している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一に安全運航に関わる具体的要件の追究を求める。また、無駄な空港建設といわれる神戸・静岡の教訓をどう活かすか(需要予想の誤り等)考えるべき。</li> <li>・何故これ程迄に現在の福岡空港が利用されるのか、環境を一度破壊したらどんなに恐ろしいか(例...和白干潟)、為政者は、知見を集めて考えてもらいたい。</li> <li>・空港問題は、今や喫緊の国際的課題である地球環境保全との整合を図る上で、国民的な問題である。福岡空港の調査を進める際もこの観点を踏まえ、例えば京都議定書の履行に福岡空港はどのように貢献するのか等も議論されるよう求める。</li> <li>・環境への負荷についての視点はどうなるのか。</li> <li>・環境と採算性の問題に配慮してもらいたい。</li> <li>・将来、福岡空港は必ず手狭になってくると思われるので、地域環境を破壊しないで、どの様に対応出来るかなども考える必要があるのではないか。</li> <li>・空港の建設・整備には、閑空や愛知(中部国際)空港の例をみても、膨大なコストを要する事業である。財源調達法と採算性にも言及することが必要。また、アセスメントの結果についても公表してもらいたい。</li> <li>・「滑走路増設をしない場合...」とは、現状を見れば、冒頭に出て来る項目ではない。とらえ方が片寄っていないか。</li> </ul> <p><b>(現在の福岡空港に関するご意見・・・改善)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回福岡空港国際線に乗るが、その場合、国内線を回って行くことになり、時間がかかるため、高速バスで行く。福岡空港の中の国際線、国内線を一体化してほしい。</li> </ul>	<p>福岡空港については、平成14年12月の国の審議会答申で、将来の混雑問題などについて、「総合的な調査」が必要であることが示されました。</p> <p>このことを受けて、平成15年度から国と地域(県・福岡市)が連携・協力して、「今の滑走路一本でどれくらい活用できるのか」「近隣の空港を活用できないか」「今の空港で滑走路を一本増やせないか」「新しい空港を作って対応するか」</p> <p>などについて幅広く調査し、必要な対応案を考えていくこととし、現在一部の調査に着手しているところです。</p> <p>この総合的な調査は、福岡空港が国内外の交流拠点として国や地域にとって重要な役割を果たしていること、社会、経済、学術、文化などの交流を通じて、社会・経済的に大きな役割を有するとともに、地域の将来に大きな関わりを持つこと等から、国にとっても、地域にとっても極めて重要な調査です。</p> <p>そのため、この調査検討を進めるにあたり、幅広い市民等の皆さんと情報を共有し、幅広くご意見をいただきながら検討を進めていくパブリック・インボルブメントの手法を取り入れることとし、平成16年6月に「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(Pi計画)」を決定、公表したところです。</p> <p>この調査検討によって、皆様にとって最善の結果が得られるよう進めてまいりたいと考えております。今回いただいた調査そのものについてのご意見につきましても、今後の検討の中で参考とさせていただきたいと考えております。</p>



ご意見の内容	考え方
<p>・現在、国際線と国内線が分れており、運行上、支障がある。</p> <p>・滑走路を挟んで国内線と国際線が分かれ、運航管理、Wx(航空気象)にスムーズさを欠いている。運航管理、Wxは一つ所で統一する必要がある。鉄道がなく国際線のアクセスが不便。</p> <p>・空港周辺の広告塔を撤去すべき、空港周辺の道幅を広く、本数を多くすべき。飛行機に乗るだけの利用者ではなく、休みの日に家族で遊びに行ける空港とすべき。「スーツケースが入るトイレ」、「子供とゆっくり入れるトイレ」、「トイレの中で着がえられる広さ」などトイレを改善すべき。1週間程度、無料で荷物を預けられるロッカーを設置すべき。(日本が冬で行く先が暑い所の場合など服が預けられ便利)</p> <p>・福岡空港は、市内連絡など案内が複雑。利用者の視点から見て工夫すれば、移動がスムーズになり、利用しやすくなるのではないかと。また、博多駅で、チェックインと荷物の預けが出来れば、地下鉄に乗りやすくなると思う。関西空港のようにCATサービスを試験的に始めれば、チェックインと荷物の預けが同時にできるので、サービス向上になるのではないかと。日本で一番便利な空港であり、サービスを向上すれば利用が増えると思う。福岡空港にアクセスする際、重いスーツケースを持っての地下鉄の移動が不便。荷物を置く場所がない。航空サービスについて、空港内を案内出来る人を配置してみてもどうか。初めて利用する人には少し分かりにくいのでは。</p> <p>・良港というのは、空に向かって旅立つ場所なので、荷物もあり、ゆっくりしたスペース、広い出入口(何かあったら出入口が広い方がよい)、スーツケースと一緒に入れる広いトイレの数も多く、鏡もあり、館内放送も聞こえるような形であるべき。また、約24時間のオープンなレストランや九州の県別物産店を設け、空港の周囲は広告塔は禁止すべき。</p> <p>・福岡空港をよく利用するが、老人や子連れへの配慮、少子高齢化時代への対応など、バリアフリー化に力を入れてほしい。国内線のエレベーターの手すりに広告があったが、よいとは思えない。もっとソフト面に力を入れてもらいたい。</p> <p>・空港ターミナルが細長く、長い距離を歩くことが問題。高齢者を連れているときつい。改善すべき。</p> <p>・搭乗時の手荷物・身体検査がいつも混雑し待たされる印象(利用時は朝が多い)。入場検査の体制を増やし、長く待つことのないよう改善すべき。</p> <p>・空港は、地域住民にとって慢性的な航空機騒音、車輦騒音、交通渋滞など、毎日の生活に支障をきたす迷惑施設である。しかし、現代生活に欠かせない施設であり、現在地に必要である。航空機以外から発する二次的公害はある程度緩和できる。朝の通勤時間帯に、空港周辺道路の交通渋滞を緩和するため、空港周辺道路網を整備する、例えば、空港周辺の道路を進入禁止、一方通行で時間帯による進入禁止道路にするなど、生活道路を整備する。</p> <p>・すぐに地下鉄やバスを利用できるので福岡空港は便利がよい。反面、広すぎて待ち合わせなど分かりにくい、もっと分かり易いシステムになるとよいと思う。</p> <p><b>(近隣空港との連携に関するご意見)</b></p> <p>・北九州新空港の運営を危惧している。福岡市の立場だけではなく北部九州として考えることで、地球温暖化防止・京都会議の指針も達成できると思う。</p> <p>・国際線のみ新北九州空港に移す。(モノレール等の利用、海上空港考慮)</p> <p>・佐賀空港の今後の活用対策</p> <p>・現在、できつつある新北九州空港を生かす方向にいくことを希望。新北九州空港から、博多・天神までの高速道路を造った方が新たに福岡空港を造るより、早道で経済的である。現在ある福岡空港は国内線に、新北九州空港は国際線と住み分けると良い。</p> <p>・新北九州空港に中国・韓国便を一部移してはどうか。</p>	

ご意見の内容	考え方
<p>・福岡空港は国内線専用、北九州空港はアジア方面、佐賀空港はその他の国とし、博多駅、天神からそれぞれに無料シャトルバス(県・市・空港会社負担)で結ばばいいのでは。</p> <p>・ひとつの考えとして、現在の福岡空港を国内線専用として、もうひとつは24時間の貨物と国際線として利用するのもよいかと思う。</p> <p>・福岡空港は、大都市に最も近い空港で利用価値及び利便性が最も高い、大都市の中にある空港であるが故に、北(博多湾)からの進入にビル等が障害になる危険性が高い、滑走路が1本なので、発着の枠に制限があり、これ以上の増便が難しい、玄界灘に福岡空港を移転する案は、冬季の季節風等を考えると問題がある、九州のメイン空港(国際空港)なら福岡市に設置する必要はない、など考えると、国際空港として位置付けられる空港が必要であれば、現佐賀空港を拡張すればよい。(九州新幹線が長崎ルート等整備されれば福岡市に置く必要がない)将来の拡張性を持った発展持続できる国際空港として設置するのなら九州の北端(福岡市)に置く必要がなく、福岡空港は地方空港として残しておけばいいのではないかと。</p> <p>・羽田、成田の例のように国際線を廃止して、佐賀空港を24時間利用の九州国際空港として拡張すればどうか。福岡空港の国際線ターミナルは国内ローカル線専用にして、誘導路の内側へ何メートルか移動し、小型機専用で利用できる。福岡は九州で第一の都市であり、博多から佐賀空港へ鉄道と高速道路の直結により時間短縮され、気になる時間でもなくなるのではないかとと思う。高速道路に関しては、東背振方面から佐賀市横を通り、佐賀空港と直結、又湾岸道路として、武雄より福富町、佐賀空港、柳川、山川PA方面の新設により、長崎、熊本、鹿児島方面の利便性も向上、鉄道に関しては、西鉄は柳川より、JRは佐賀駅より延長し、特急を走らせることによりスピード化可能。工事費に関しても、玄界灘を作るより、また仮に同額とした場合でも利用効果にすれば、遥かに潤いをもたらすと思う。有明海は浅瀬により工事費も安くでき、騒音の心配がなく24時間利用が可能。ソウル、上海空港に負けない発着利用料金を設定することによりアジアの中継地となり、さらには欧州、北米への期待も膨らむのではと思う。</p> <p>・近隣の佐賀空港と24時間利用可能な1年後開港予定の新北九州空港と物流のすみ分けを考えれば、福岡空港の対策のポイントがはっきりすると考える。新北九州空港の開港を待って政策的目標等を考えても十分と考える。</p> <p>・北九州空港と佐賀空港を直結のミニ新幹線で結び相互利用の利便性を高め、福岡空港については、投資した騒音対策費、今後の対策費等を考慮し、永久に残すべき。</p> <p>・佐賀空港は、4000mのR/Wが4本も作れるといわれている。軟弱地盤も技術的に対策可能であり、九州の主要都市からミニ新幹線と高速道で結び、物流拠点としても活用し、他地域で新たな開発が発生しない方法をとるべきである。</p> <p>・現在周防灘に建設中の新北九州空港及び隣県の佐賀空港(すでに数年前に開港されているが、利用度が低いと聞く。)との連携について、アクセスを整備すれば、距離的には(例えば、同じ九州管内にある鹿児島、大分、長崎空港の位置関係からみても、)問題はないのではないかと考える。それぞれの空港の利用促進につながり、十分に検討に値すると考える。</p> <p>・全ての要素を検討すべきだが、特に近隣空港との連携方を最優先に検討すれば、結果は早く見えてくると思う。先日大分空港に行き、1時間待ったが飛行機が一機も飛んでいなかった。</p> <p>・福岡空港は、日本一便利な空港であり、わざわざ別に造る必要を認めない。拡幅することで対応出来る。それでも不足なら、佐賀空港との連携も考えてみてはどうか。</p> <p>・現在の福岡空港の路線等を佐賀空港や新北九州空港、長崎空港などの北部九州の空港へ振り分ければ、混雑が緩和されると思う。</p> <p>・現福岡空港の更なる効率的運用と周辺空港(佐賀、北九州)の併用によって十分需要に対応出来るため、新福岡空港は必要ない。人口も減少傾向になり、今迄のように右肩上りの増加は考えられない。投資額を考えてもとても財政的にも無駄。周辺空港のアクセス開発で地域も活発になる。</p> <p>・新宮沖とか、海上空港とかの話があるが、玄界灘の荒海の中、水深も60mか100mはあり、これを埋めたてるといふのか。冬は風が強く連絡橋を作っても危険。他の空港を利用する方が良い。</p>	

ご意見の内容	考え方
<p>・福岡空港の騒音が気になっている。将来深夜便利用の空港となるのは問題。その点で北九州空港、佐賀空港がよいのであれば、深夜便は両空港を利用するようにした方がよいのではないかと思う。</p> <p>・近隣空港との連携方を徹底的に研究し、問題点を列挙し、市民とともに考える姿勢を基本としてもらいたい。</p> <p>・佐賀空港は現在殆ど運航の態様をなしていない。しかしこれをないがしろにする訳にはいかない。佐賀空港は福岡空港の代替空港として位置づけるにしても今後相当な検討が必要。代替空港については北九州空港も考えられるが、これも管制圏等について十分な検討が必要。</p> <p>・北九州、佐賀両空港へのアクセスと利用方法を徹底的に考察する必要がある、大阪伊丹と関空の現状など検証することが必要である。</p> <p>・高速道路を、新北九州空港や佐賀空港まで延長し、交通アクセスを良くし、両空港と機能分担をする。</p> <p>・21世紀の早い時期にニューヨーク～日本間が4時間を目標にされるなど、地球が狭くなるような時代、福岡空港は国内一利用者に利便性を持つ空港であり、北九州空港と相互活用していくべきだと思う。北九州空港の取付道路等を整備すれば、九州、四国の西部、中国等も視野に活用できると思う。百年の大計で計画して欲しい。</p> <p>・国も地方も合わせて700兆円という大借金をしている。個人ならとうに個人破産。福岡空港の過密は認めるが、隣りの佐賀、新北九州空港等を利用するよう行政が道路等環境を整備し、危険がある場合に限り空港の新設を考慮すべき。負債は国民又市民の借金、行政は市民の血税を無駄のない様に使う</p> <p>・県内に空港は2港あるが、両空港を有機的に活用すべき。新線建設案は3件あるがいずれも北九州市をベースに考えられている。両空港を直結することを考えるべき。</p> <p>・佐賀空港、新北九州空港などの話は、東京の人間の言うこと。</p> <p><b>(中長期的な観点から抜本的な対応策に関するご意見・・・滑走路増設等)</b></p> <p>・総合的な調査は滑走路を増設しない場合の能力の見極めと将来需要への対応策の検討に大別され、この中に滑走路増設の検討があるが、福岡空港は、一本の滑走路では時間帯によっては、限界に近い現状にあり、滑走路の増設、運用時間帯の拡大も大きな課題と思う。滑走路を増設した場合、一本は離陸専用にするれば用地取得も可能で、能力も拡大すると考える。</p> <p>・福岡空港は、都心に近い利点があり、出張者には大変好評であるため、当然数も増え、お金も落としていくことになる。このような人間の心理面はなかなか表面にでてこない。仮に新空港を作るとしても、工期中に限った活況であり、街の永続性を考えると現空港の拡張の可能性という点を検討してもらいたい。</p> <p>・地理的に大変便利な現空港の能力見極め、すなわち有効利用が一番と思う。空港ビルなどまだ十分使用可能と思われるし、現在の周辺道路、駐車場、店舗等を全部地下道路、地下駐車場とすれば、地上には相当な空地が見込まれると思う。まずエプロンの移設などを行い、のちに第二滑走路の建設を検討すればよいのではないか。立退き、用地買収、地下工事など相当な期間と予算も必要だろうが、新空港建設(移設)の比ではないと思う。</p> <p>・現空港は利用者の交通など極めて利便性が高く、恐らく日本で一番の空港と思う。また、佐賀空港は不便、佐賀の人でも福岡空港を利用していると聞いている。現空港の拡張、滑走路の増設が最高と考える。</p> <p>・現段階では、離着陸が飽和状態であり、危険な状態ではないか。近隣APとの連携は非常に難しいと思う。短い滑走路1本では、危険であり、滑走路の増設が出来るのなら、それが1番よいのではないか</p> <p>・現空港への交通アクセスから考え、近い将来満杯といわれているが、滑走路1本では対応が困難と思われるため、滑走路の1本増設が必要である。増設に伴う用地確保については、地権者との折衝の課題があるが、滑走路の端を横切る南側の道路を地下道にし、3,000mにし、空港東側(国内線入口)付近を再開発してはどうか。</p> <p>・現空港の滑走路の増設が必要。</p> <p>・現在の福岡空港は狭すぎ、滑走路2本の余裕はない。</p> <p>・現在、出発、着陸にかなり待たされる。現在の空港は狭隘で、R/W(滑走路)を増設する余裕はない。</p> <p><b>(中長期的な観点から抜本的な対応策に関するご意見・・・新空港)</b></p> <p>・アジア展開を見込んで、新福岡空港の建設は必須だと思う。</p> <p>・東南アジア諸国の経済発展はめざましく、豊かさが日本への観光を増幅していく事は目に見えている。その窓口としては福岡が最適であり、香港、仁川の空港に匹敵する規模の空港を期待する。</p>	

ご意見の内容	考え方
<p>・空港は、ぜひ新設して頂きたい。いまの議論は離着陸のキャパシティに終始し、「騒音」と「危険」という重要な部分が欠落している。現空港は昭和10年代、軍飛行場として田の真ん中に作られたもので、今であれば、絶対にここに立地しないだろう。約40年前、米軍機が九大に墜落した当時は「都会の中の危険な空港」という烙印を押されたこともある。朝7時半から夜10時半まで騒音に悩まされ、かつ墜落の心配を年中強いられている周辺住民のこともぜひ考えてもらいたい。</p> <p>・地方第二種空港として、移転は大いに結構と思っていた。自宅の上空を毎日低空で進入している飛行機が落ちない補償はなく、直近ではフィリピンでも(事故が)あった。そうなった場合、誰が責任を取るのか、反対のための反対は困る。</p> <p>・現福岡空港は利便性は日本一、ただし危険と紙一重の立地である。(特に着陸時、博多港より進入し風の向きによりUターンして着陸するとき)よって新空港は利便性を確保しつつ安全な施設とすべき。</p> <p>・政府のJT株(100万株50%を保有しています)を売却すれば、1兆円にはなる。新空港には8200億円かかると聞いているが、このお金で地下鉄箱崎線の空港への直接のり入れをしても良いと思う。早くしないと事故が起きる可能性もあり、議論しているひまはないと思う。知事が国会議員に陳情すべき。</p> <p>・福岡空港は現在満杯の状態にある。事故が起きる可能性もあり、心配している。年間の離着陸回数は14万回を数え2分21秒に1回の間隔で離着陸している(2000年3月)。名古屋や成田よりも過密といえ、日本一過密といえる。一気に空港を建設するという訳にはいかないで、2006年には北九州新空港もでき、佐賀は空港ができたばかりであり、約10%をしめる北九州市都市圏、6%をしめる佐賀県の利用者に遠慮してもらえないか。安く早い等から飛行機の利用が多いことを考えると、新空港がほしい。新博多駅も新空港ができてから作っても遅くないと思います。70年もあれば出来ると思う。</p> <p>・日本一過密といわれているのを実感する。危険が迫っているのでは。なるべく迅速にstep2、step3、step4と進めた方がよいと思う。新空港の建設をできるだけ早く願いたい。</p> <p>・国際線のみ西戸崎(志賀島)に移転する。(アイランドシティとの連携、福岡地下鉄線の延長考慮)</p> <p>・全体的な九州圏的な見地から九州の中心地に大型空港を建設し(熊本等)交通アクセスを検討。(航空機の大型化、スピードの高速化等を十分考慮し50年後の見通し等の計画を)</p> <p>・24時間運航が可能な、志賀島の博多湾側、海の中道につけて新空港を作るのがよいと思う。新北九州とふたつは、万一の事故を考え必要と思う。</p> <p>・福岡空港の目指すものをどこに置くのかにより今後の事が決まってくる。これまでのやり方や見通しては新空港の建設は困難。博多湾埋立地の利用、福岡市民の利便さを考慮すれば、海/中道付近に建設し、埋立地を物流基地として利用することが東アジアのハブとして好条件ではないかと考える。</p> <p>・以前、新宮沖に新空港を造る案があったが、波が荒く、難工事となり、莫大な事業費となる。新空港は、荒尾・大牟田沖に造るべき。新幹線なら大牟田まで20分程度で着く。</p> <p>・一部で予想されている玄界灘方面の空港は、日本海の天候で就航率に懸念がある。また、新しい空港と市街地との間にアクセス(鉄道)が必要。他空港と管制面での錯綜を避ける必要もある。</p> <p>・ここ数年は離陸・着陸が時間帯によってはかなり待たされる。運航便が多く機能麻痺の寸前。滑走路が1本しかない弊害といえる。空港の移設、滑走路の増設が必要である。玄界灘は裏日本の天候。冬季には雪等が予想される。雪等で空港の閉鎖も考えられ、就航に影響が考えられる。また海上は風向きの変化が考えられ、滑走路1本ではかなりの支障が考えられる。最適地は南の鳥栖付近ではないか。鳥栖付近では佐賀空港と官制上錯綜が考えられるがWx(航空気象)の影響も少ないし、鉄道等のアクセスも問題ない。</p> <p>・PI方式を採用するのは良いが、本当に新福岡空港が必要に迫られているのかどうか疑問がある。その1つに人口問題、2007年から日本の人口は激減するのに福岡は増加するのか。次に人工島(アイランドシティ)の問題が未解決のまま進めて良いのか。大型船が往来する中、博多湾は汚染されないのか、過剰な開発で中央区ではイノシシが、東区ではサルが出没している状況もあり、これ以上開発を進めるべきなのか。もう少し時間を掛けて新空港に取り組むべきではなからうか。</p> <p>・空港が移転する際、跡地整備と東区アイランドシティー及び九州大学が移転した後どの様に計画するか。住宅計画等であれば飲料水の問題が心配。</p> <p>・海を埋立てるとした場合、「環境整備をどの様に進めていくのか。」「沈下が生じた時の処置をどの様にするのか。」「埋立造成に用いる建設費用はどの位か。」「埋立の深さは何m位で検討されているか。」「関西空港と新福岡空港の比較。」について検討すべき。</p>	

ご意見の内容	考え方
<p>・新空港移転ケースの場合には、現空港敷地の1/3以上を占める私有地の地権者への対処法、また、跡地が都心に近接し、利便性が高く、好条件を有するポテンシャルの高い位置であることから、再開発に関しても、併せて論議の必要があると考えます。</p> <p>・現空港の位置関係で福岡市都心部の建物には高度制限がかかっている。都心部が高度制限から外れる位置に空港を移転することへの賛否(メリット、デメリットを含め)を、もっと検討すべき。</p> <p>・福岡空港の問題点は、世界に例を見ない、都心から4km以内にある点にある。郊外に移転することを絶対に条件とすることが必要。</p> <p>・福岡空港は西日本最大の玄関ではないかと思う。現空港周辺の騒音対策費だけでも相当額が支払われていると聞いており、新空港を作り、移転後に、空港跡地を売却すればよいのではないかと思う。</p> <p>・仮に新空港をいづれかに建設するとしても空港建設だけではなくアクセス整備への再投資が大きな問題ではないかと思う。</p> <p>・福岡空港を我が国で一番便利の良い空港として利用している。新福岡空港については、一つの県に海上空港を2つは、問題があるし、交通・輸送の面でもマイナスが多い。</p> <p>・海上空港建設に反対。(経費、今後の利用者減少)</p> <p>・未来を背負う青少年育成のために、玄界灘の海をこれ以上、汚したり、奪ってはいけない。私達大人は経済成長のために随分これまで野山の自然や海を汚し、子供達から奪ってきた。そのつけが今、少年犯罪や非行として現れてきている面がある。幼少時自然の中で、海や山で過ごす事により将来、たくましい人間が育つと考える。</p> <p>・現福岡空港は国内でも最も利便性の高い空港と思っている。航空需要の大巾な増大に伴う対応策については、数年前有識者をメンバーとした委員会を立ち上げ、(会長は牧野昇氏)数件の案を比較・検討し、博多湾に近接した相島周辺の海を埋立て造成する海上空港が決定され、公表されたと記憶しているが、今回の調査において、この案はどう取り扱うのか。</p> <p>・一体现在の空港にいかなる問題があるのか。これ以上の設備投資は、財政難の折からみても贅沢に思える。多少の不便は長続きしないのだから辛抱すればよい。福岡空港は現状のまま凍結し、新規設備投資は我慢すべき。弊害が生じるとは考えられない。</p> <p>従って、空港の容量の増加は必要ない。もし、現状維持ですべての問題があれば、それこそ大いに広く周知徹底すべきである。それが市民の共感を得る近道である。</p> <p>・今まで通りで良いかと思う。</p> <p>・現在の福岡空港は、日本でも最高の立地であると思う、そこは、絶対に守ってもらいたい。</p> <p>・福岡空港は都心から近く、利便性が高いため、現在の場所で効率を向上させ、諸問題を解決してほしい。国、地方とも財政が非常に厳しく、不要な事業はやめてほしい。</p> <p>・今の空港は博多、天神から地下鉄で5分ないし10分と交通の便利が良いこと、便数も多く料金も割安、約70キロ圏内はおろか高速バス等利用して、佐世保、熊本、大分方面からの利用者もある。福岡空港は条件として整っており、将来も残す必要があると思う。</p> <p>・交通利用においては、安全と利便性こそ第一優先。現空港へのドアツードアアクセスは国内でも最高であり、県内の東西南北すべての地域からのアクセスが整備されていると思う。来県者を含み利用者の大部分は国内・国際線とも現空港が最適であると考えていると思う。</p> <p>・利用者の立場からすると、現在の国内有数のアクセスの良さを保ちつつ、拡張性や安全性が更に向上するような方向性が検討されることを期待する。</p> <p>・現空港の地上アクセスの利便性は日本一、海外の大空港と比べても、この点ではトップクラス。この利点を損なわず、いくつかの改善を施せば、滑走路は1本でも稼働率のいい素晴らしい都市空港に生ま</p> <p>・世界一便利な福岡空港に誇りを持っている。地下鉄を利用すれば博多駅5分、天神まで10分でこのような空港は、他にはない。</p> <p>・現福岡空港については、空港の管制能力は年13万回(離着で1回)で2005年には満杯になるといわれているが、福岡空港は世界的にも利便性が高く各航空会社は福岡空港を望んでいる。</p> <p>・バブル期以来、24時間空港、海上空港と騒がしかったが、福岡市に生まれ育ったものにとっては、今の場所ですべて自分たちの空港だという思いがある。この場所を捨て、海上なり他の場所へ移れば、今の場所には住宅やビルなどが立ち並び息苦しい場所になるのは目に見えている。この空間を是非今後も残してほしい。</p> <p>・日本は少子高齢化で人口が減少するので、朝の発着時間帯を集中させるダイヤを組まないことなど工夫し、福岡空港は現状のままでよい。新福岡空港を作って膨大な負債を子孫に残してはならない。</p>	

ご意見の内容	考え方
<p>・現状での混雑解消へ向けた対応策としては、午前、午後一定時間帯に集中する離陸着便の調整、民間機優先使用となる、混雑空港指定化等々を検討すべき。</p> <p><b>(需要予測等に関するご意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の前提となる福岡都市圏の需要予測を公募による機関を設置して論議すること。</li> <li>・空港についての意見を述べるにはデータが不足。過去、現在、将来の見通しのデータ、その背景として人口、企業、物流、周辺空港のデータ、将来の人口、企業、物流等の見通し、また福岡空港拡大の可能性等のデータが必要。</li> <li>・新北九州空港により、北九州圏内利用エリアができ福岡空港利用が減少</li> <li>・福岡空港の需要予測については、新北九州空港が完成した場合のことも考慮のうえ検討してもらいたい。また、羽田空港の許容量の将来予測も検討すべき。</li> <li>・関西空港をはじめとして、最近建設された空港は建設計画時点の需要見込みと建設後の需要実績の乖離がはなはだしく、経営的に苦境に陥っている例が多いと聞く。この20年間に国内で開港した空港について、計画時点における需要見込みと開港後の需要実績、年度毎の経営内容の状況等の資料を提示してもらいたい。</li> <li>・福岡空港が現状維持ででてくる問題とは何か、具体的に知らされていないし、不透明。特に重要なのは将来の需要予測が、説得力あるものか疑問。日本の総人口は(2003年の統計)平成18年1277414百人をピークに減少に転じ、平成32年には1241014百人に減少し、平成72年は915934百人に激減する。しかも福岡は既に人口減少に突入した北九州空港を控えている、内外の人と物流は、今後減少傾向になるであろうし、外需が増加する見透しも乏しい。福岡市に、空港設備に、回収見通しの不透明な投資をし、子孫に負担増を押しつけることは許されない。</li> </ul> <p>・福岡空港の総合的な調査については、三空港(福岡、佐賀、北九州)の役割・効果を検討し、三空港の航空需要の予測の上に、A案近隣空港、B案滑走増設、C案新空港、といった形で取りまとめるべき。</p> <p><b>(その他のご意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の空港を利用されている方々から、どのような空港が利用してて良かったか、パターン別にアンケートをとるのがいいのでは。</li> <li>・佐賀空港は赤字であり、廃止すべき。新北九州空港へは、新幹線を分岐させ小倉から小文字山のトンネルを掘り、乗り入れを考えるべき。新北九州空港の空域が狭いなら、小月の飛行場は閉鎖。芦屋に統合すれば、空域は確保できる。</li> <li>・福岡空港は、都市の中心部に極めて近く、アクセスもよく、一番便利な空港である。帰途は佐賀空港であったが不便極りなく、北九州に長崎、佐賀、熊本と空港があるがこんなに必要なかと思う。</li> </ul> <p>・調査委員会は既に発足し、PIを監視し助言するという第三者機関の選出もされているようだが、調査委員会委員が、公募することなく一方的に選任されたことは、公正・中立を旨とする謳った今回空港調査のあり方を損なうものである。ただちに公募委員を補充することを求める。</p> <p>・調査委員会の選出について疑問がある。この委員会は、福岡空港の現況と将来像に関する基礎的調査のみならず、今後の調査の方向性に至るまで検討することとされており、当然メンバーは公正・中立の立場から選出されなければならず、公募などの方法で県民の意志が十分に反映されるメンバーで構成されるべきであった。にもかかわらず、当局の一方的な判断で選出されたため、納得できる人選になっていない。今からでも公募して補強すべきである。</p> <p>・10年間以上にわたって、福岡県当局を中心に行った調査活動が情報公開が不十分だったため無駄に終わったことを正式に陳謝すべき。行政の御用委員会、シンクタンクなどを排除すること。</p> <p>・開空では、伊丹が廃止されるどころか、最近は便数も増えているし、また、神戸空港も、35キロ圏内に3空港では公共事業、税金の無駄遣いだと思う。</p>	

< 参考 >

## 「福岡空港の総合的調査に係るPI実施計画」作成にあたっての 意見収集アンケート結果

福岡空港調査PI実施計画素案の作成に際して、市民等の意見を反映しつつ検討するため、第1段階として「福岡空港の総合的な調査に係るPI実施計画作成にあたっての意見収集アンケート」(以後「PIに関するアンケート」という)を、平成16年9月29日から10月18日(インターネットについては20日まで)にかけて実施した。

その結果、677名の方からご回答をいただいた。これらのご回答については、今回の第1ステップの福岡空港調査PI実施計画のみならず、全てのステップのPI実施計画に反映させていただくこととする。

### 1 実施概要

実施期間	2004年9月29日～10月18日(Web20日)
配布方法	配布(周辺地域) 郵送(地方自治体、企業、経済団体等) 空港・駅等での配布 県市情報提供窓口での配布 ホームページによるインターネット(Web)アンケート
対象者	空港周辺地域住民及び関連自治体 利用企業 福岡空港利用者 福岡県民、福岡市民 経済団体 NPO、市民団体 地方自治体 等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677

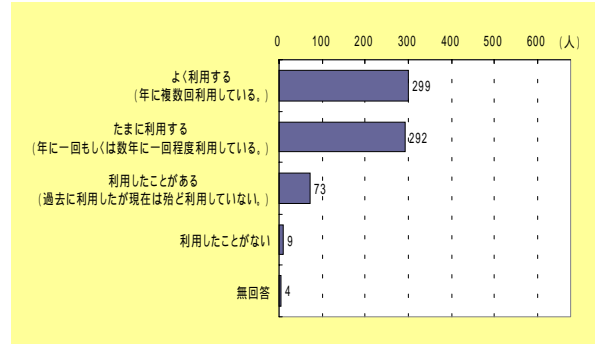
## 2 アンケート結果の概要

### Q 1 . 福岡空港のご利用状況と、現空港の印象

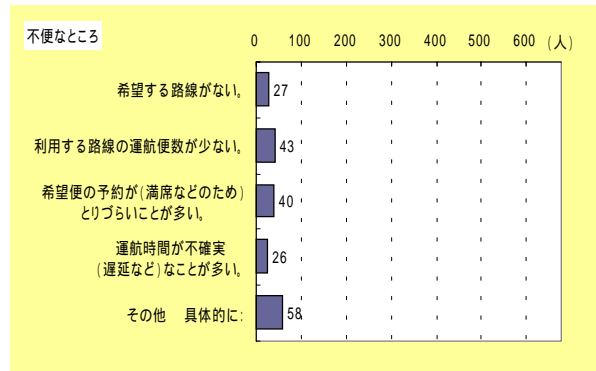
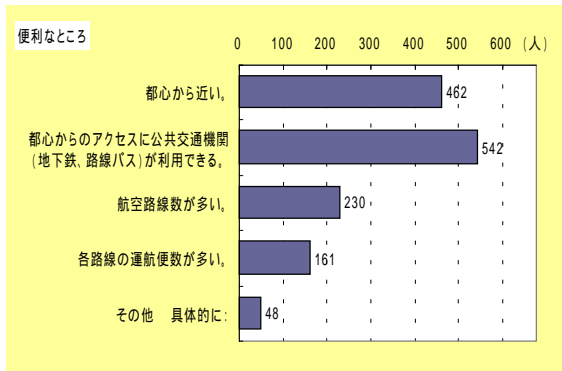
#### Q 1 - 1 . 福岡空港のご利用の

状況について

(一つだけ選択)



#### Q 1 - 2 . 現空港の利便性について (複数選択可)



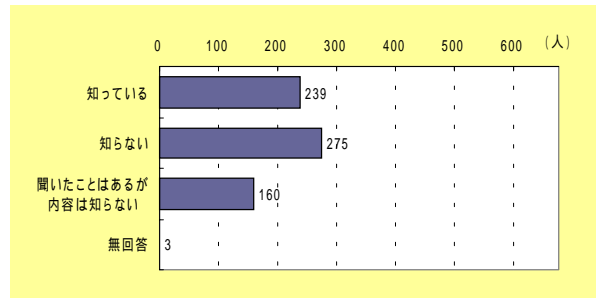
### Q 2 . 福岡空港の総合的な調査について

#### Q 2 - 1 . 福岡空港の総合的な調査を国、

福岡県、福岡市が実施している

ことを知っているか。

(一つだけ選択)

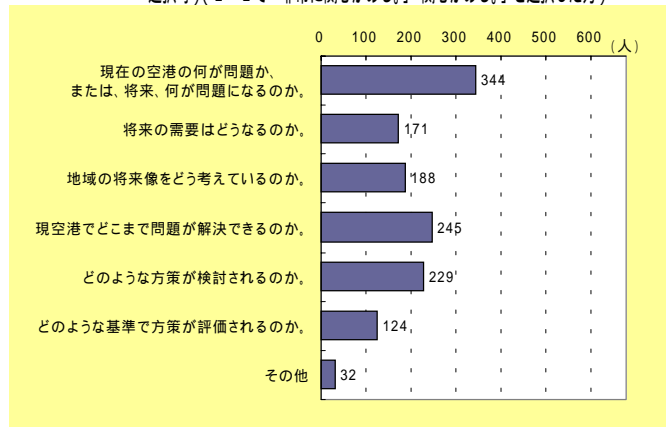
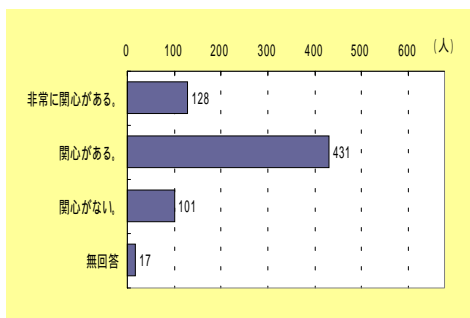


#### Q 2 - 2 . 福岡空港の総合的な調査に関心

があるか。(一つだけ選択)

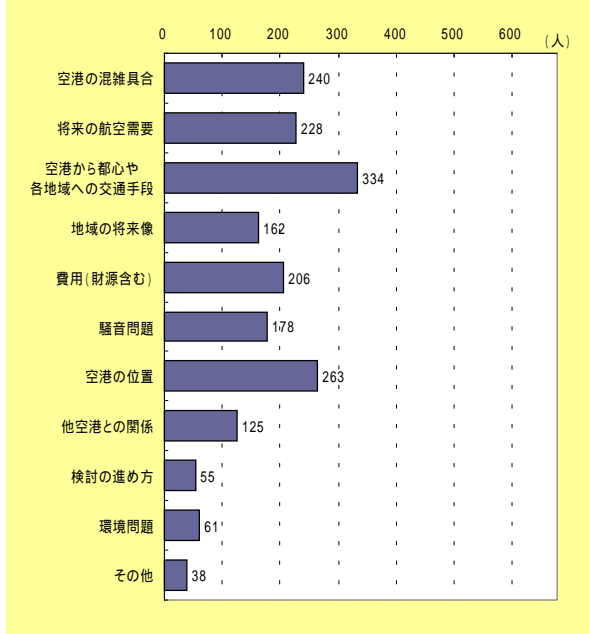
#### Q 2 - 2 - 1 総合的な調査のなかで

どのような調査に関心がありますか。(複数  
選択可)(2-2で「非常に関心がある。」「関心がある。」を選択した方)

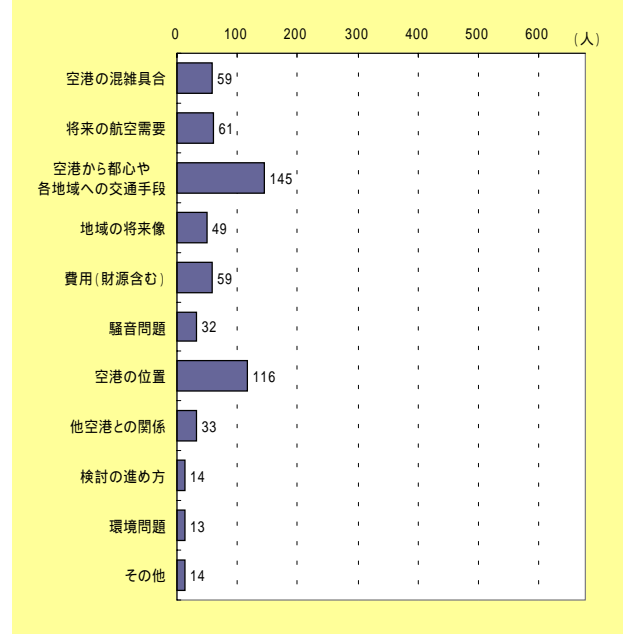




Q 2 - 3 . 福岡空港の問題を考える際に  
 しては、どういことに関心があるか。  
 (複数選択可)

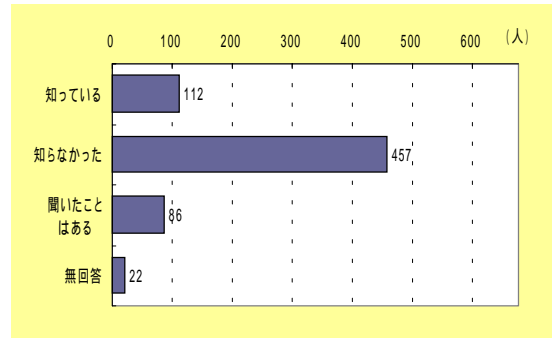


Q 2 - 3 - 1 . うち、特に関心  
 があるもの(一つだけ選択)



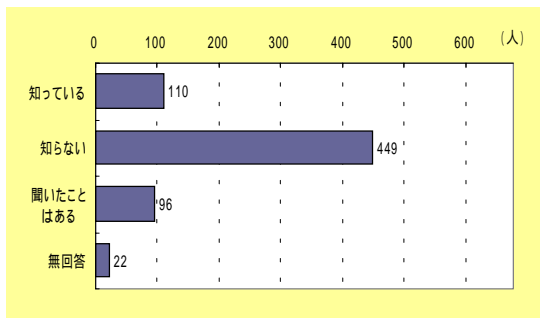
Q 3 . 福岡空港調査 P I 計画について

Q 3 - 1 . P I (パブリック・インボルブメント)  
 という言葉や内容について  
 (一つだけ選択)

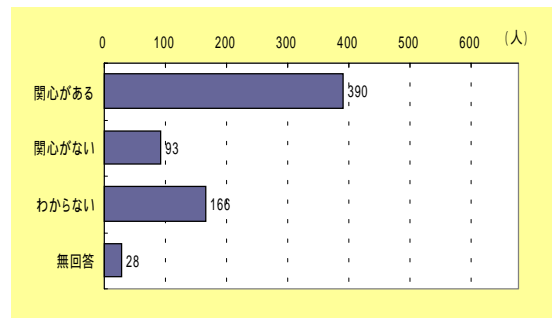


Q 3 - 2 . 福岡空港調査 P I 計画について(一つだけ選択)

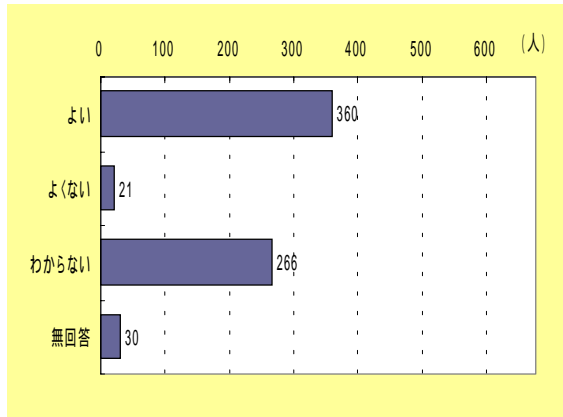
福岡空港調査 P I 計画について



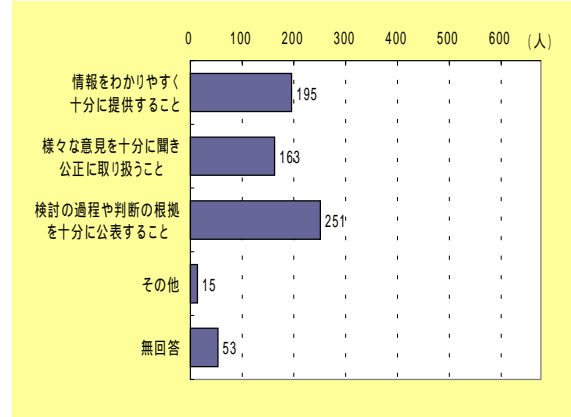
福岡空港調査 P I 計画への関心



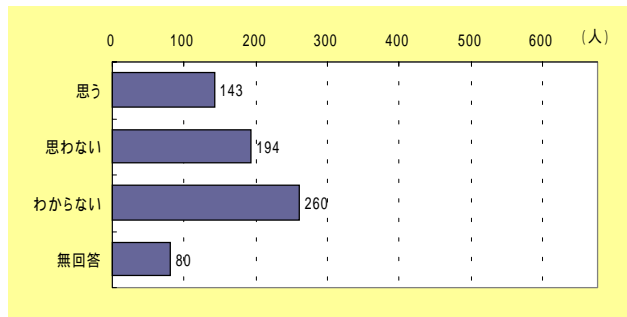
Q 3 - 3 . 福岡空港調査 P I 計画を  
どう思うか。(一つだけ選択下さい。)



Q 3 - 4 . 福岡空港調査 P I 計画で重要  
なことは何だと思うか。(一つだけ選択)

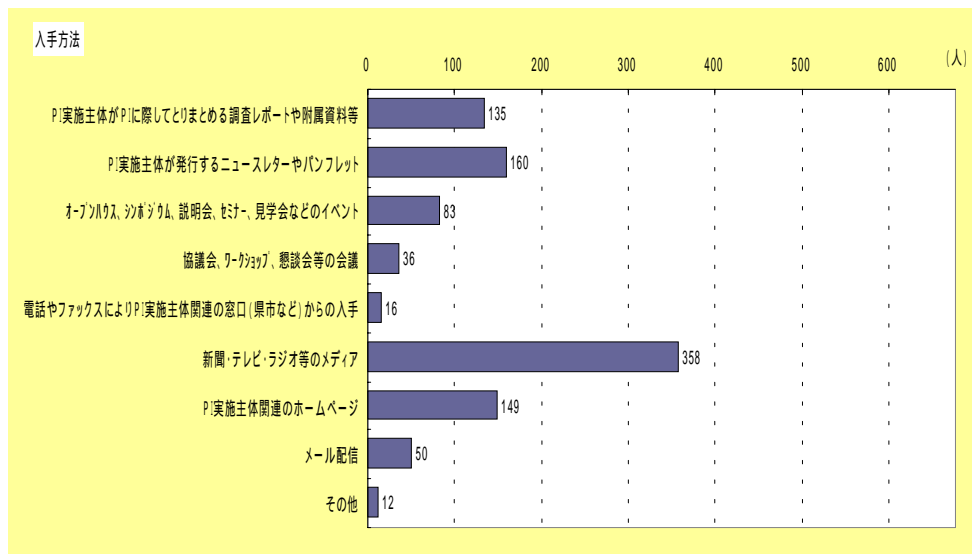


Q 4 . 福岡空港の P I の活動に参加し、意見を表明したいと思うか。(一つだけ選択)

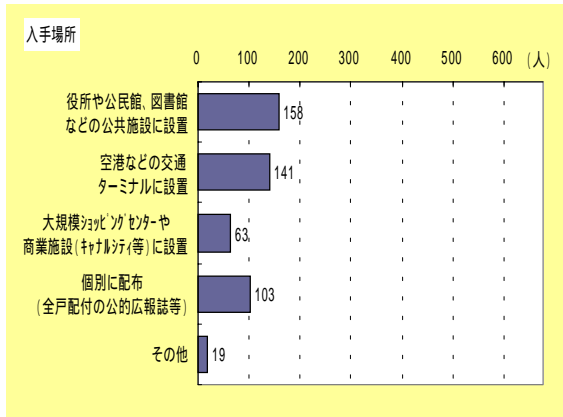


Q 5 . 福岡空港の総合的な調査に対する情報を、どういう方法及び場所で入手したいと思うか。

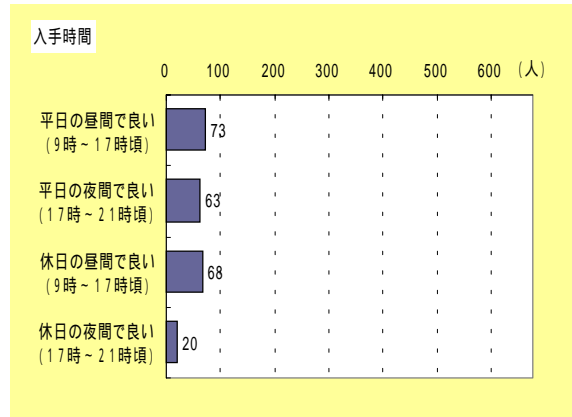
どのような方法で入手したいと思いますか。(複数選択可)



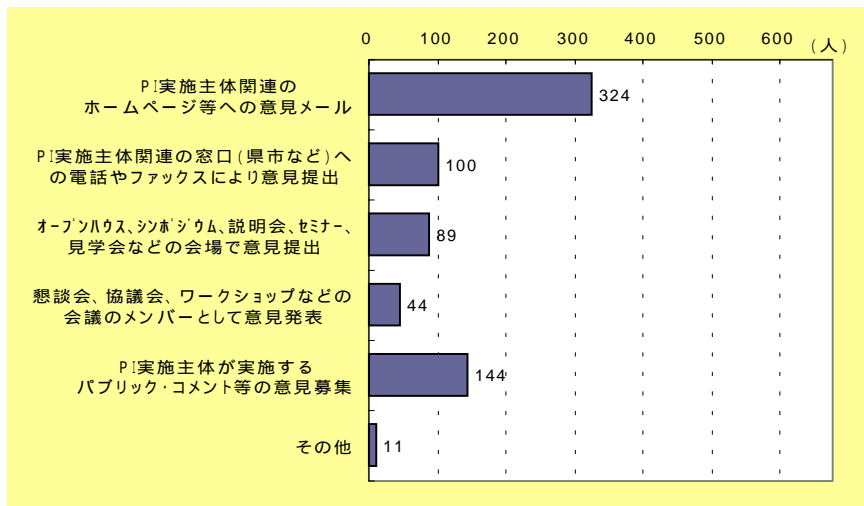
-1 どのような場所で受取りたい  
 と思いますか。(複数選択可)



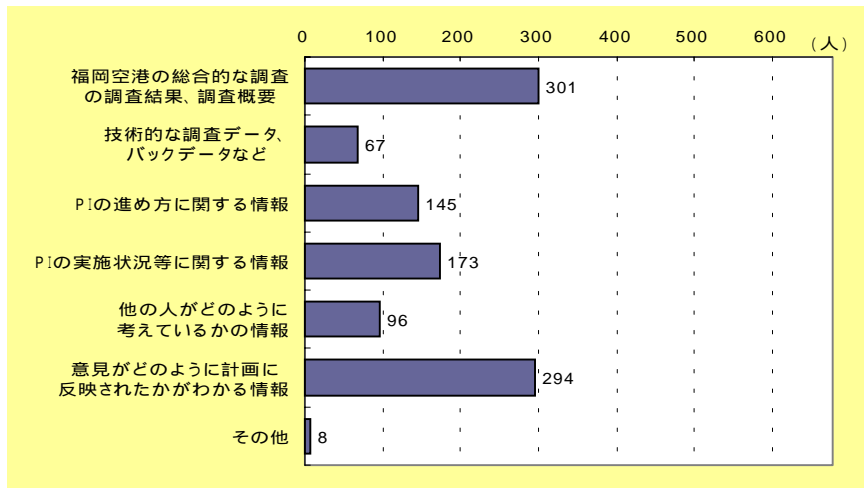
-2 都合の良いお時間は  
 いつ頃ですか。(複数選択可)



Q6. どのような方法で、福岡空港の総合的な調査に対する意見を提出したいと思いますか。(複数選択可)



Q7. P1を通じて、どのような情報を知りたいとお考えですか。(複数選択可)



### 3 自由記述意見

PI についての主なご意見（50件）

- ・全般的な進め方について（11件）
  - … ・PI の実施にあたっては、利用者や市民の意見を十分にくみ取り、皆が満足行くものとし、公正・公平・慎重に進めるべきなどのご意見。
- ・PI の検討の進め方について（4件）
  - … ・幅広い県民市民の参加、幅広い意見収集と検討、判断の根拠の公表等によるコンセンサス形成をすべきなどのご意見。
- ・情報提供について（9件）
  - … ・分かり易く、オープンで偏りのない情報提供をすべきなどのご意見。
- ・意見収集について（7件）
  - … ・意見を言いやすく、分かり易い体制を整備し、国内外企業、空港利用者、近隣市、県外利用者等の意見も取り入れるべきとのご意見。
- ・周知広報について（4件）
  - … ・広報が不足、関心を持ってもらうため情報が広く伝わるよう工夫すべきとのご意見。
- ・PI 手法について（3件）
  - … ・ホームページ、メール、新聞など色々な方法で情報を知らせるべきとのご意見。
- ・その他（12件）
  - … ・効率のよい進め方で時間と経費の節減を図るべきとのご意見。
  - … ・調査委員会や第三者機関に市民を参加させるべきとのご意見。
  - … ・(この)アンケートの内容や配付方法、結果の活用等についてのご意見。

その他のご意見（119件）

- ・福岡空港は、都心（博多や天神）から近くて便利なところが利点であり、移転してしまえば不便になる。移転には反対。
- ・関空、名古屋、成田等に比べ、こんな便利な空港は他にない。ぜひとも残すべき。新空港にお金をかけるより、北九又は佐賀との連絡交通網を整備することが必要。
- ・福岡空港は数ある国内の空港の中でも天神・博多など街中心に近いのが魅力。ただ将来の混雑のことを考えると、場所を変えずに、滑走路を一本増やせば、それが一番だと思う。
- ・都心部の空港であり、アクセスも良く、利用しやすい空港だと思う。しかしながら、空港周辺の騒音の問題や市街地を航路としている現状から、事故等の発生を考慮し、海上空港も視野に入れた計画が必要だと思う。
- ・少子高齢化に向っているとき将来の航空需要をよく把握して、無駄な投資にならないよう慎重に調査し発表すべき。
- ・形式的な調査に終わることがないようにすべき。

## 福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)案

～ 幅広い市民参加に向けて ～

福岡空港の総合的な調査

ステップ1:「課題と実現すべき政策的目標」

平成17年 1月

福岡空港調査連絡調整会議

## はじめに

福岡空港については、平成14年12月に国土交通省交通政策審議会航空分科会の答申において、「既存ストックの有効活用方策」、「近隣空港との連携方策」、「中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策」等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要があると位置づけられました。

これを受けて、国と地域（福岡県、福岡市）において平成15年度から連携・協力してこの総合的な調査を進めているところです。福岡空港の市民生活に果たす役割の大きさを考えると、調査に当たっては、空港利用者も含めた幅広い市民等に対し、積極的に情報を提供するとともに、広く意見を収集・反映していくなど透明性を確保し、市民等と情報や多様な認識を共有して進めていくことが重要です。

そのため、福岡空港調査連絡調整会議では、市民等に情報を提供し、幅広く意見を収集し、検討に反映していく「パブリック・インボルブメント（P I）」を導入することとし、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（P I計画）を平成16年6月に決定し公表しました。

今回、このP I計画に基づき、検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」についてのP Iを平成17年度の早い段階で実施するため、そのアウトラインを明らかにした福岡空港調査P I実施計画（ステップ1）を、P Iに関するアンケートを踏まえて素案を作成し、その素案についても意見募集を行い、とりまとめました。

今後、福岡空港の総合的な調査に係る検討の第1ステップ「課題と実現すべき政策的目標」についてのこの実施計画にもとづき、幅広い情報提供を行って参りますが、皆様におかれましては、積極的にご参加の上、たくさんのご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

平成17年 1月

福岡空港調査連絡調整会議

## - 目 次 -

### 福岡空港調査 P I 実施計画（ステップ 1）

1	福岡空港調査 P I 実施計画（ステップ 1）の策定にあたっての基本方針	1
2	対象とするステップと目標	3
3	実施時期および期間	4
4	提供する情報内容	5
5	情報提供および意見収集の方法（ P I 手法）	6
6	収集した意見の取扱い	8
7	P I の終了	9
8	策定の経緯	11

- < 参考 >
- 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供  
及び意見収集のあり方」( P I 計画 ) の概要
  - 2 福岡空港の総合的な調査の概要
  - 3 P I 手法の概要
  - 4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約
  - 5 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

## 福岡空港調査 P I 実施計画（ステップ 1）

- 福岡空港調査 P I 実施計画は、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（以後 P I 計画という）に基づき、具体的な P I の方法等を明らかにするための計画です。

福岡空港調査 P I 実施計画は、P I 計画で示した検討のステップ毎に作成します。

☞ P I（パブリック・インボルブメント）とは

- 市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス。

### 1 福岡空港調査 P I 実施計画（ステップ 1）策定にあたっての基本方針

十分な周知広報を実施します。  
多様で適切な P I 手法を選定します。  
わかりやすい情報の提供を実施し、収集した意見とそれに対する考え方を公表します。  
中立・公正な P I を実施します。  
適切な時間管理に努めます。

#### （1）十分な周知広報の実施

- P I の実施に当たっては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ等から幅広く意見を収集することが必要です。
- このため、P I の実施について十分な周知広報に努めます。

#### （2）多様で適切な P I 手法の選定

P I 手法については、

- P I 参加者の特性やニーズを踏まえて参加しやすい方法
- 各ステップの検討内容、P I の目標に合わせた多様で適切な情報提供と意見収集の手法

を選定します。また、P I の実施状況等により見直すなど柔軟に対応します。



### **(3) 分かりやすい情報提供と意見等の公表**

- ・ 各ステップで提供する情報は、そのもととなる調査が多種多様に及ぶため、福岡空港調査連絡調整会議において市民等に分かりやすく取りまとめて提供します。
- ・ 取りまとめのもととなった調査等情報についても、他の調査等情報と区分して、公表します。
- ・ 収集した意見については、個人が特定できる情報を除いて、取りまとめて公表します。また、意見収集の状況を勘案しつつ、当該ステップの内容に照らしてどのように対応するかなど、PI実施主体としての考え方、方針等を取りまとめて公表します。

### **(4) 中立・公正なPIの実施**

- ・ PIの実施に関し、「PIの開始時」「PI実施期間内」「PIの終了時」など、PIのプロセスにおいて第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）の監視、評価、助言を受けます。
- ・ 第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）の評価や助言等については、誠実に対応します。また、この助言や評価結果についてもホームページ等で公表します。

### **(5) 適切な時間管理**

- ・ 各ステップの検討内容、PIの目標等を勘案し、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など、適切な時間管理に努めます。

## 2 対象とするステップと目標

本実施計画は、検討のステップ1の「課題と実現すべき政策的目標」を対象とします。

ステップ1では、福岡空港の能力・課題・空港に求められる政策的目標を共有することを目標とします。

- ・ このPIは、検討の4つのステップのうちの第1番目「課題と実現すべき政策的目標」を対象として実施します。
- ・ ステップ1は、福岡空港の現状や課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等の今後の検討の基本的な事項を市民等と共有することを目標とします。

### (想定する論点)

- ・ 課題は十分出揃っているか、漏れている点はないか。
- ・ 課題の内容が理解できるものであり、間違いはないか。
- ・ 実現すべき政策的目標は理解できるものであるか。

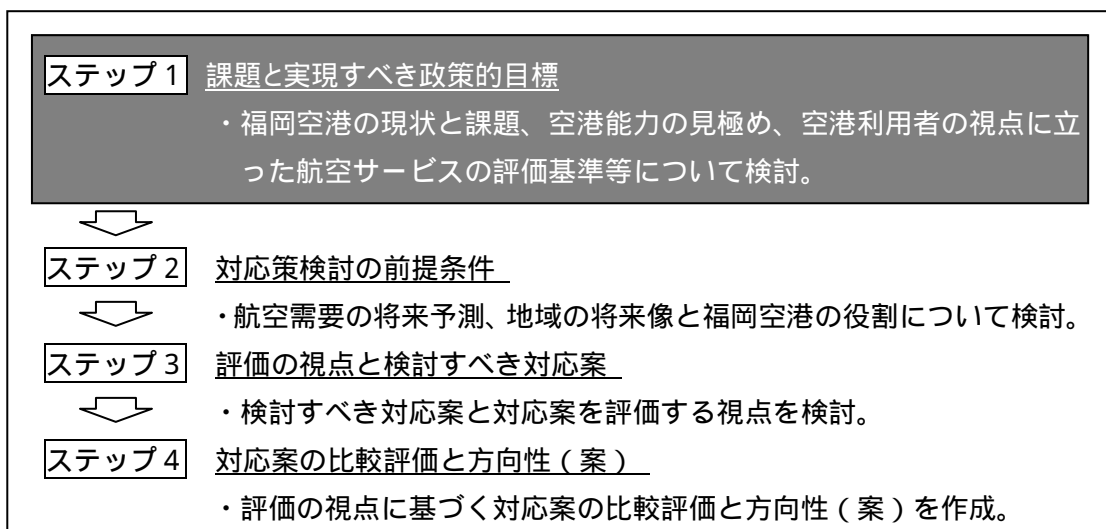


図 対象とするステップ

### 3 実施時期および期間

ステップ1のPI活動は、平成17年度に実施します。  
PIの実施期間は、概ね3ヶ月程度を目安とします。

#### (1) 実施時期

- ・ ステップ1のPI活動は、調査等情報が整理され、準備が整い次第、平成17年度の早い段階で実施します。
- ・ 具体的な開始時期等については、準備状況等を総合的に勘案し、福岡空港調査連絡調整会議において決定し公表します。

#### (2) 実施期間

- ・ たくさんのご意見を頂くためには、市民等の関心と参加が得やすいよう一定期間に高い密度の情報提供等を集中的に実施することが必要であること等から、3ヶ月程度を目安として実施します。
- ・ 開始時期は、福岡空港調査連絡調整会議が決定した時期を目安とします。また、終了時期は、情報提供、意見収集、意見の反映の過程を経て第三者機関の評価を得た時期とします。

#### (3) 進め方

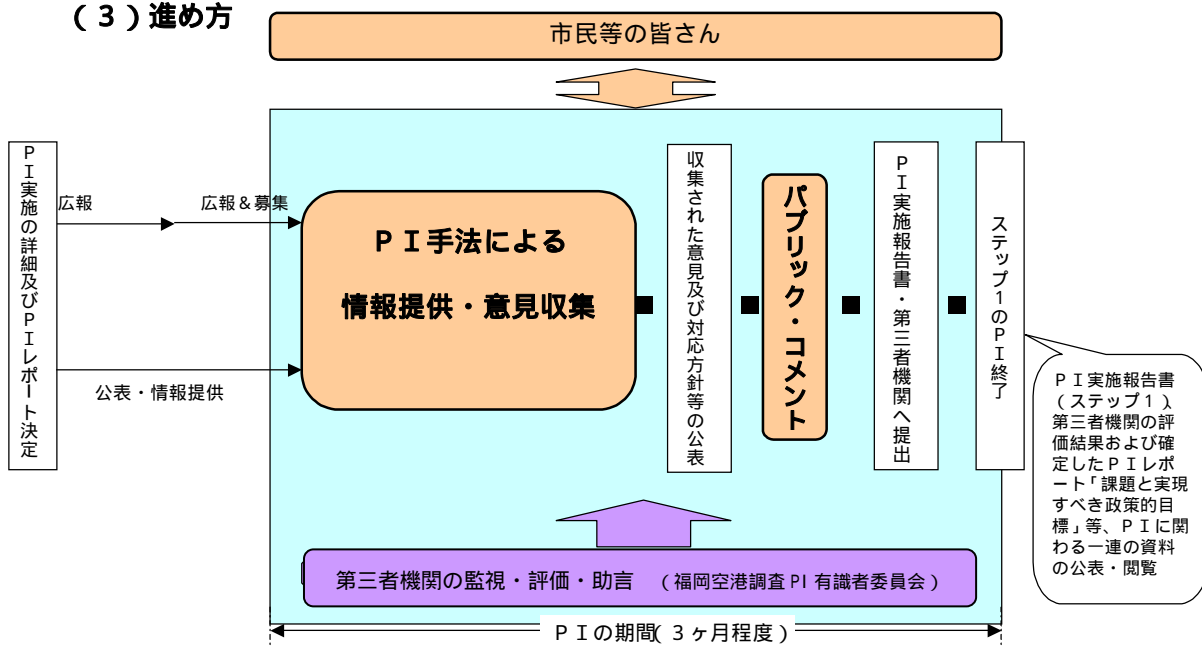


図 PI (ステップ1) の進め方のイメージ

## 4 提供する情報内容

福岡空港の現状や課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準などの今後の検討の共通のベースとなる基本的な事項について提供します。

これら情報は、PI実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）において「課題と実現すべき政策的目標」のPIレポートとして取りまとめ、わかりやすい形で市民等の皆様に提供します。

PIレポートのもとになった調査等情報についても公表します。

- ・ ステップ1のPIでは、今後の検討の共通のベースとなる基本的な事項である「福岡空港の利用の状況や問題、課題」「航空を取り巻く情勢」などについてお知らせするとともに、「航空サービスの考え方」や「福岡空港の能力」などの検討情報を提供します。
- ・ 提供する情報は、「福岡空港の現状と課題」「空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準」「空港能力の見極め」などの調査等情報をもとに、PI実施主体（福岡空港調査連絡調整会議：以下同じ）において、分かりやすく「課題と実現すべき政策的目標」のPIレポートとして取りまとめ提供します。

表 提供情報

提供情報	情報の性格
福岡空港の現状は？ 福岡空港の問題、課題は？ 航空を取り巻く情勢は？	利用や運用の状況、航空を取り巻く情勢など、福岡空港を考える際に必要な基本的な知識、情報について提供します。 (例)・福岡空港の概要、利用状況(路線、便数、離着陸回数等) ・騒音問題や高度制限、運用実態と課題 ・航空の動向、国内外の空港の状況 など
航空サービスの評価をどう考えるか？ 福岡空港の能力はどうか？	福岡空港に関し、航空サービスの現状や水準、空港能力などについての検討情報を提供します。 (例)・福岡空港のサービス水準、利用者の意識 ・利用者の視点に立った空港能力の考え方 ・滑走路増設をしない場合の有効活用策 など

- ・ このPIレポートのもととなった調査等情報についても、ホームページや関係行政機関の情報提供窓口等で公表し、閲覧できるようにします。
- ・ PI参加者のご意見や、第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）の助言等により追加や補足資料の取りまとめを行った場合には、これについても公表します。

## 5 情報提供および意見収集の方法（P I手法）

P Iの開始に先立ち、実施に関し十分な周知広報を実施します。  
情報を容易に入手でき、意見を表明できるP I手法を実施します。  
P I参加者は、空港利用者をはじめ福岡県民、福岡市民など幅広い市民等の皆様を想定します。

### （1） P I実施に関する周知・広報

P Iの開始に当たっては、事前にP I実施の概要を

- ・ 関係行政機関の広報手段による広報
- ・ 報道機関への情報提供
- ・ 各種メディアでの告知
- ・ ホームページへの掲載

等により、幅広くお知らせします。

### （2） 情報提供及び意見収集の方法

- ・ ステップ1のP Iは、今後の検討の基本的な事項について、共通のベースを持つことを目的とすることから、情報を正確且つ十分に、幅広く伝達し、意見収集が可能な手法に重点を置きます。
- ・ P I参加者がいずれかの手法により容易に情報を入手でき、意見を表明できるよう留意します。
  - 空港等での情報提供やホームページの活用により、地域を限定しない情報提供、意見収集を実施します。
  - オープンハウスや説明会など、特定の場所等を要するP I手法においては、福岡市をはじめ福岡地域、筑豊地域、北九州地域、筑後地域を対象に実施します。

### （3） 想定するP I参加者

- ・ 福岡空港の広域性、影響範囲の大きさ等から、幅広い市民等の参加を想定するとともに、住所や空港利用の有無に関わりなく、情報を提供し意見を収集します。
- ・ 空港等での情報提供やホームページによる情報提供などにより、市民等の皆様が幅広く参加できるよう留意します。

（想定するP I参加者）

- ・ 福岡空港の周辺地域住民及びその関連自治体
- ・ 福岡県民、福岡市民
- ・ 福岡空港利用者（居住地等に関わり有りません）
- ・ 県内地方自治体
- ・ 福岡空港の利用企業、航空会社、空港・航空関連企業
- ・ 地元経済団体
- ・ 福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体
- ・ その他

表 ステップ1のPI手法と実施期間

手法	PI参加者						
	福岡県民 福岡市民 福岡空港 の周辺地域 住民及び関 連自治体	空港利用 者	県内地方 自治体	空港利用 企業、航空会 社、空港・航 空関連企業、 地元経済団 体	福岡空港に 関心を有する 国内外の個 人及び団体		
周知・ 広報	・関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報 ・ホームページへの掲載 ・報道機関への情報提供						
情報 提供	PIレポートの 配付	PIレポートを配布するもの。	・インフォメーションコーナーや 公共機関の情報窓口等に設置 ・説明会や見学会、オープンハウ ス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載				
	PIレポート概 要版(パンフ レット)の配 布	PIレポート概要版(パンフレッ ト)を配布するもの。	・インフォメーションコーナーや 公共機関の情報窓口等に設置 ・説明会や見学会、オープンハウ ス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載				
	見学会の開 催	空港の現状や利用状況等につ いて現場を見学するもの。	福岡空港にて実施	-	-		
	インフォー メーションコ ーナー	福岡空港PIの総合的な情報 提供窓口。あわせて意見の収集も 実施。	福岡県、福岡市の庁舎内、空港 等・複数箇所検討	-	-		
	HPへの情報 掲載	PI実施主体のホームページに 情報を掲載するもの。あわせて 意見の収集も実施。	-				
	意見 収集	説明会	PIレポートの内容についての 説明会を開催し、意見収集を 行うもの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、 筑後地域、筑豊地域にて開催	-	-	
		懇談会	PIレポートの内容について懇 談し意見収集を行うもの。	空港利用企業、航空会社、空港・ 航空関連企業、地元経済団体、 福岡空港に関心を有する国内外 の個人及び団体との懇談会を開 催	-	-	
オープンハウ ス		PIレポートの内容についての 展示や説明を行い、意見収集 を行うもの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、 筑後地域、筑豊地域にて開催	-	-		
意見募集 ・パブリック コメント		ホームページ等を用いて意見 を募るもの。	-				



## 6 収集した意見の取扱い

説明会等で寄せられた意見については、個人等に関わる情報を除いて随時取りまとめ公表します。

意見の集約状況を勘案し、収集された意見とその意見に対する考え方、対応について取りまとめ公表します。

収集された意見や第三者機関（福岡空港調査 PI 有識者委員会）の助言により追加や補足資料の取りまとめを行う必要がある場合は、迅速に対応し、公表します。

### （１）意見及び意見に対する考え方等の公表

- ・ 説明会、懇談会、オープンハウス等で頂いた意見は、個人等に関わる情報を除き随時公表します。
- ・ 意見がある程度集約された段階で、寄せられた意見とそれに対する P I 実施主体の考え方、対応について取りまとめ、公表します。
- ・ P I 実施主体がステップ 1 の P I の目標を達成したかどうかを判断する際は、収集された意見と意見に対する考え方、対応方針を取りまとめ公表します。

### （２）追加及び補足資料の取りまとめ

- ・ 寄せられた意見については、P I 実施主体である福岡空港連絡調整会議の構成機関において随時共有し、追加や補足資料の取りまとめが必要と判断される場合は、迅速に対応し、公表します。
- ・ 第三者機関の助言によって追加や補足資料の取りまとめが必要な場合も、速やかに対応し、公表します。

## 7 P Iの終了

P I実施主体として当初の目標が達成されたかどうか、まず判断します。  
P I実施主体として終了と判断した場合は、P I実施報告書（ステップ1）を取りまとめ、第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会）に提出し、評価や助言を受けます。  
...このP I実施報告書（ステップ1）及び第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会）の評価や助言についても公表します。  
第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会）の評価や助言を踏まえ、ステップ1のP Iを継続するか、終了するかを総合的に判断し、公表します。

### （1） 目標達成の判断

提供した情報の周知や意見集約の状況などについて、P Iの実施を通して把握し、目標が達成されたかどうかを総合的に判断します。

表 判断する際の考え方の例

視点	考え方(例)
情報が市民等に十分に周知されたか。	・提供した情報が正しく伝わったか。 ・「課題と実現すべき政策的目標」の内容が認知されているか。
市民等から幅広く意見が収集されているか	・県民、市民、空港利用者、企業など、幅広い皆さんから意見が収集されているか。 ・意見に対する考え方や対応方針が正しく伝わったか。

### （2） P I実施報告書（ステップ1）の作成と提出

目標を達成したと判断される場合には、P Iの実施状況、収集された意見と意見に対する考え方、対応などを取りまとめたP I実施報告書（ステップ1）を速やかに作成し、第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会）に提出するとともに公表します。

### （3） 第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会）の評価や助言とその公表

- ・ 提出したP I実施報告書（ステップ1）は、第三者機関（福岡空港調査P I有識者委員会）によって内容が評価され、必要に応じ助言がなされます。  
第三者機関は、評価に際し、必要がある場合は、P I実施主体に実施関係資料の提出を求め、また、ヒアリングすることなどができます。
- ・ P I実施報告書（ステップ1）に関する評価や助言については、個人等に関わる情報を除き公表します。



#### (4) ステップ1のPI終了と結果の公表

- ・ PI実施主体は、第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）の評価や助言を踏まえ、PIを継続するか、終了するかどうか総合的に判断し、その判断結果を速やかに公表します。
- ・ PIの終了を判断した場合は、PIに係る一連の資料（情報提供した資料、意見等の取りまとめ資料等）を整理し、PI実施報告書（ステップ1）とともに保管します。また、その一式を国土交通省、福岡県及び福岡市の情報提供窓口等に配置し、市民等の閲覧に供します。

## 8 策定の経緯

- 実施計画の作成にあたり、市民等の皆様のご意見を反映した計画とするため、平成16年9月から10月にかけて「福岡空港の総合的な調査に係るP I実施計画作成にあたっての意見収集」(P Iに関するアンケート)を実施し、その結果を踏まえて福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案を作成しました。また、この素案についても平成16年11月から12月にかけて意見募集を実施し、お寄せいただいたご意見を踏まえ、福岡空港調査連絡調整会議において成案としてとりまとめました。

### P Iに関するアンケート結果

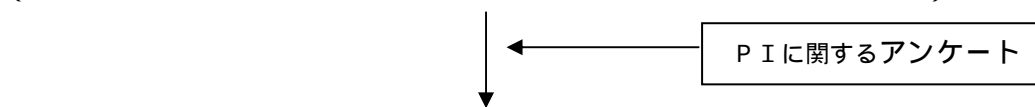
- ・実施期間 ... 平成16年 9月29日～10月18日
- ・回収数 ... 677名
- ・集計結果 ... 表1(P I関係)参照(次項) 詳細は別途公表済み。

### P I実施計画素案についての意見募集結果

- ・実施期間 ... 平成16年11月1日～12月10日
- ・ご意見の概要 ... 125名の方から233件
  - P I実施計画に関するご意見 : 115件
  - 総合的な調査等に関するご意見 : 118件
  - 主な内容(P I実施計画関係) 表2参照(次次項)
  - ご意見と当会議の考え方について、別途公表。

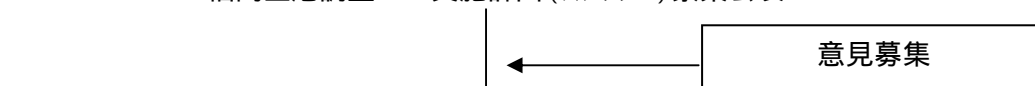
### < 図 P I実施計画策定・公表手順 >

(福岡空港調査連絡調整会議：福岡空港調査P I実施計画作成方針の決定)



(福岡空港調査連絡調整会議：福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案作成)

福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)素案公表

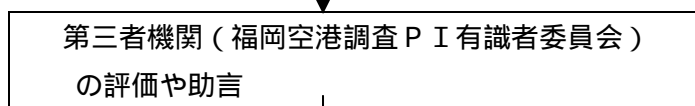


福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)(案)

(福岡空港調査連絡調整会議：取りまとめ、決定)

**福岡空港調査P I実施計画(ステップ1)成案**

(送付)



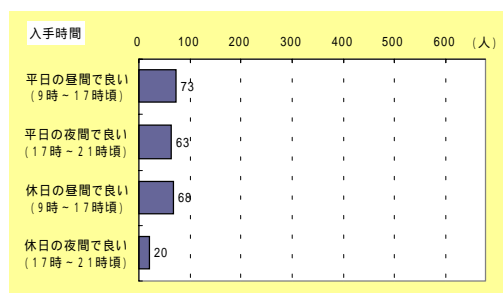
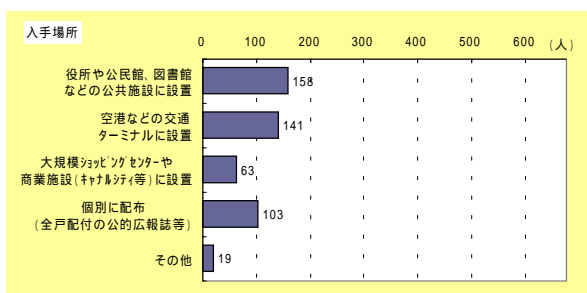
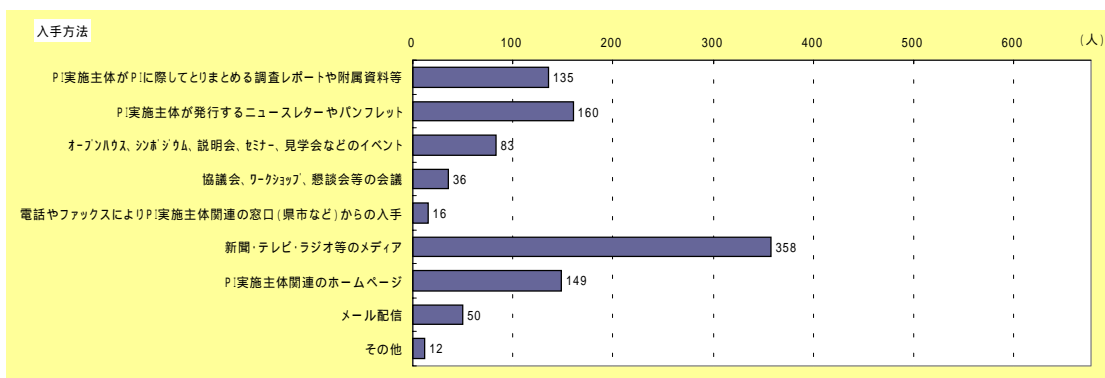
(福岡空港調査連絡調整会議：公表)

表1 「福岡空港の総合的調査に係るPI実施計画」作成にあたって  
の意見収集アンケート概要

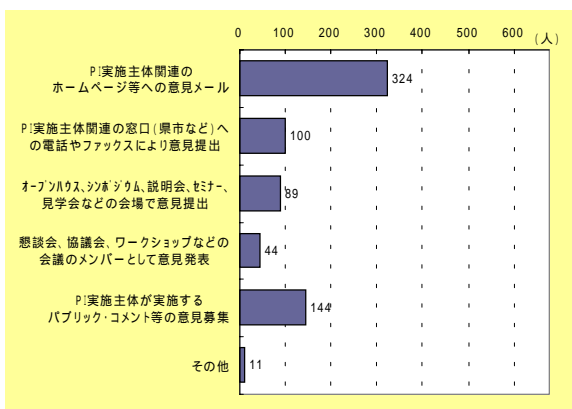
実施期間	2004年9月29日～10月18日（Web20日）
配布方法	郵送、空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関HPによるWebアンケート等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677名

アンケートの集計結果（PI実施関係）

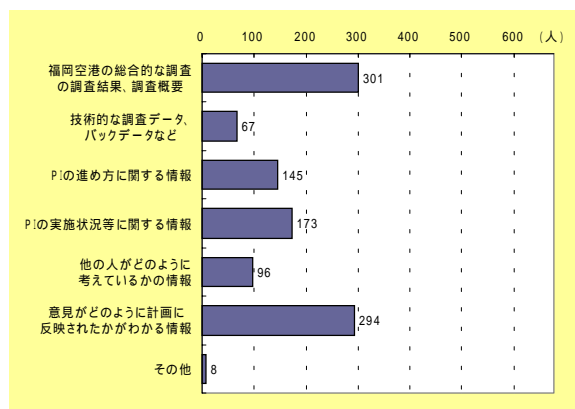
情報の入手方法や場所について（Q5）



意見の提出方法について（Q6）



PIを通じて知りたい情報内容について（Q7）



なお、本意見収集アンケート概要については、平成16年度第2回福岡空港調査連絡調整会議資料として公表済み。

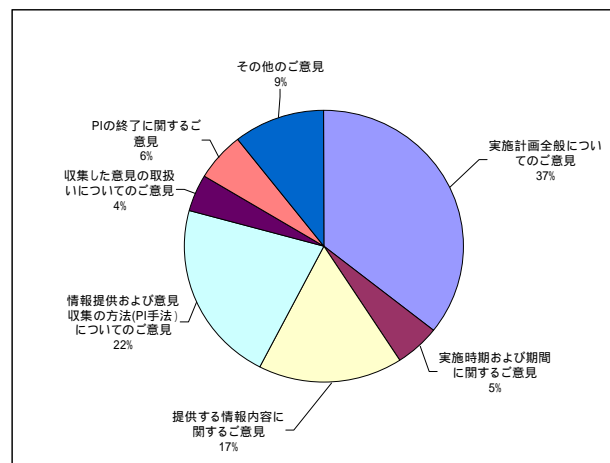
表2 福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）素案に関するご意見募集結果（概要）

実施期間	2004年11月11日～12月10日
配布方法	空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関HPによる募集、郵送等
回収方法	郵送、ファックス、電子メール
回収数	125名 ご意見 233件

主なご意見（PI実施計画（ステップ1）関係概要）

- ・素案の内容を評価するのご意見。（27件）
- ・素案の内容等についてもっと分かり易くすべきのご意見。（10件）
- ・PIの取り組み自体に疑いがあるとされるご意見。（3件）
- ・PI実施期間に関して、速やかに実施し時間管理すべき、また、逆に時間をかけるべきのご意見。（6件）
- ・情報の内容について、分かり易く、適切な方法で提供すべき、また、福岡空港以外の空港（計画中含む）の状況や現状、課題等の詳しい情報を提供すべきのご意見。（10件）
- ・多くの方が参加できるよう様々な手法を実施すべき、特にマスコミ等のメディアを活用すべき等のご意見。（14件）
- ・PI手法について、空港利用者の意見を重視すべき、また、利用者でない方の意見も幅広く聞くべきというご意見。（11件）

福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）素案に関するご意見の分布（グラフ）



なお、「福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）素案に対するご意見と当会議の考え方について」は、別途福岡空港調査連絡調整会議資料として公表

## < 参 考 >

- 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」( P I 計画 ) の概要
- 2 福岡空港の総合的な調査の概要
- 3 P I 手法の概要
- 4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約
- 5 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

## 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)の概要

PI計画(平成16年6月策定)は、福岡空港の将来の混雑問題などについて調査する「総合的な調査」にあたって、パブリック・インボルブメント(PI)の手法を導入し、みなさんの意見を検討に反映していくための基本的な考え方を示したものです。その内容について以下に概説します。

### (1) 福岡空港の総合的な調査

福岡空港の総合的な調査は、

**既存ストックの有効活用方策**

**近隣空港との連携方策**

**中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策**

などの調査を通じ、考えられる様々な対応方策の中から、今後講ずべき施策の組合せ等の選択肢を示す方向性(案)を作成するものです。

これは、多様な対応方策の選択肢について、地域のニーズ等を踏まえて、幅広く調査・検討するものであり、候補地を選定する構想段階や事業実施の前提となる計画を決める施設計画段階以前の「調査段階」に位置付けられます。

### (2) 総合的な調査の実施に当たっての基本方針

総合的な調査の実施に当たっては、

- ・福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ・多面性。
- ・これまでの取り組みにおける市民等とのコミュニケーションの不足。
- ・公共事業全般に求められている透明性の確保と説明責任の遂行。

などから、関係行政機関が政策の方向性の形成・決定を行うに当たっては、その過程で市民等と情報の共有を図りつつ、意見を十分に収集し反映していくことが重要です。

#### (基本方針)

**情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施。**

**市民等との多重多層のコミュニケーションに基づき、市民等に関かれた進め方での調査検討の実施。**

**市民等のニーズ・意見を収集し、総合的な調査に適切に反映できる手法の導入。**

### (3) 総合的な調査に係る P I について

#### PI の基本的な考え方

全体の進め方を明確にし、市民等と共有。

基本的なところから段階を踏んだ検討とそれに連動した P I の実施。

市民等にとってわかりやすく、公正さを担保できる体制の確保。

#### 方向性(案)検討のステップと検討のステップに連動した P I の実施

- ・ 福岡空港の総合的な調査においては、その内容等を踏まえ、「課題と実現すべき政策的目標」「対応策検討の前提条件」「評価の視点と検討すべき対応案」「対応案の比較評価と方向性(案)」の4つのステップで検討します。
- ・ P I は、検討の各ステップに対応して実施し、市民等の皆様の意見を検討に反映します。

4つのステップを踏んで検討を進め、方向性(案)を作成します。

#### ステップ1 課題と実現すべき政策的目標



- ・ 福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等について検討します。

#### ステップ2 対応策検討の前提条件



- ・ 航空需要の将来予測、地域の将来像と福岡空港の役割について検討します。

#### ステップ3 評価の視点と検討すべき対応案



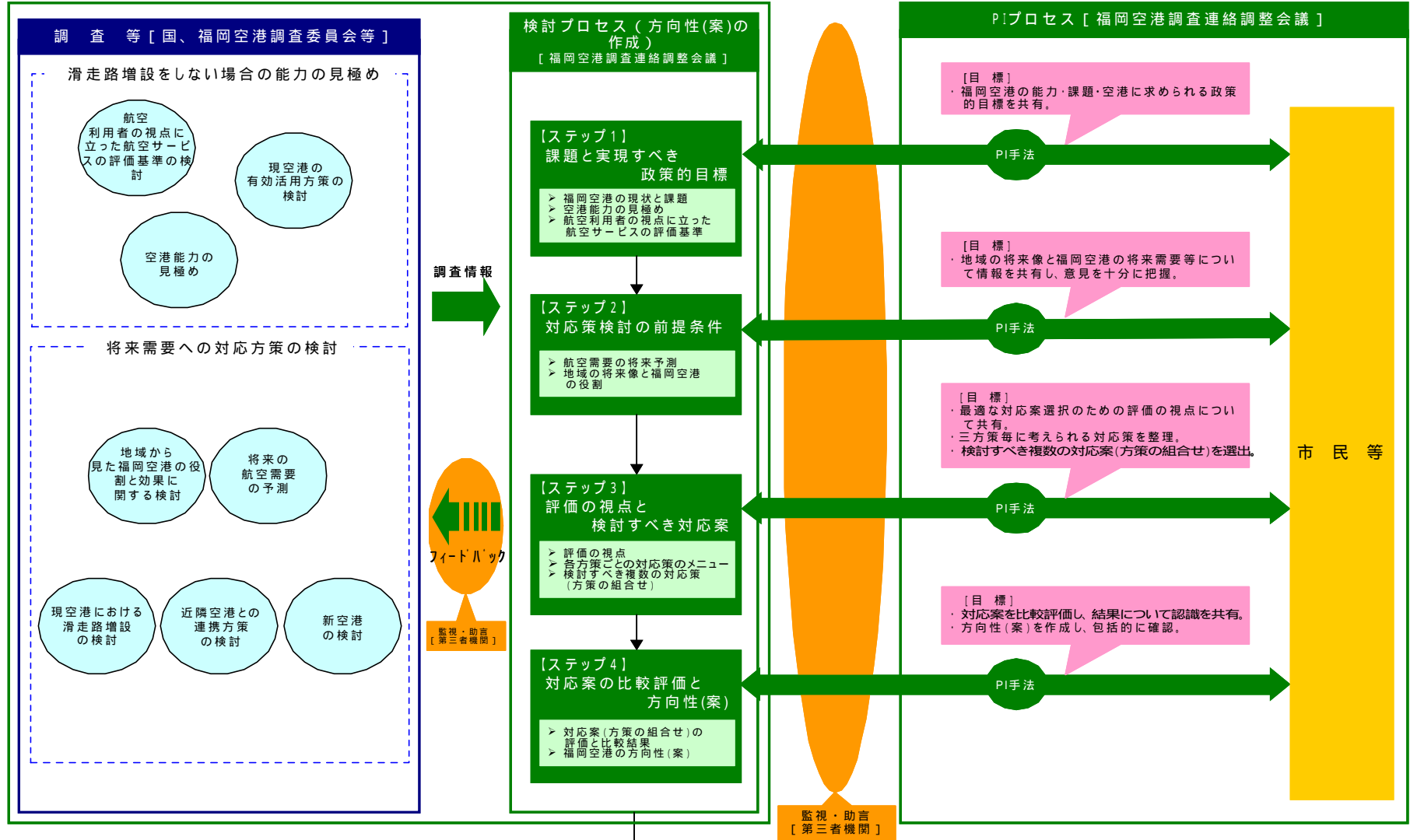
- ・ 検討すべき対応案と対応案を評価する視点を検討します。

#### ステップ4 対応案の比較評価と方向性(案)

- ・ 評価の視点に基づく対応案の比較評価と方向性(案)を作成します。

図 方向性(案)検討の4つのステップ

総合的な調査の開始



政策形成プロセス [ 関係行政機関 ]

方向性(案)の絞り込み 政策的視点、技術的視点、民意の3つの視点を総合的に判断。

所定の手続きによる方向性の決定



## 実施体制

PIにかかると実施体制は、PIを実施する機能、方向性（案）を作成する機能、PIを監視し、助言を行う機能、各種調査を実施する機能の4つにより構成されます。

- ・ このうち、「PIを実施する機能」、「方向性（案）を作成する機能」は、福岡空港調査連絡調整会議が担うものとします。
- ・ 「PIを監視し、助言を行う機能」を担う第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）を設置します。

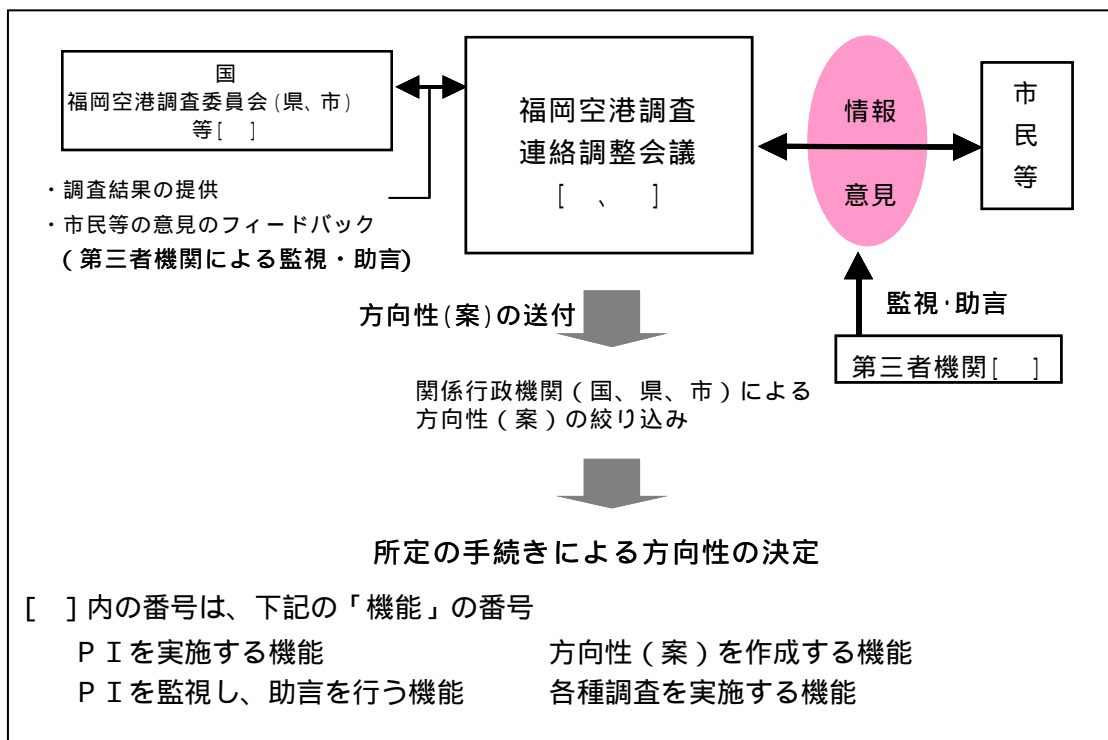


図 実施体制

## PI手法

- ・ 各ステップでの検討内容にあわせて、多様かつ適切な手法により市民等との多重多層のコミュニケーションを実施します。
- ・ PIの手法は、状況に応じて見直すなど柔軟に対応します。

## 情報提供

福岡空港調査連絡調整会議が情報を提供する際には、

- ・ PI活動において各ステップに合わせて提供される情報については、市民等にわかりやすく取りまとめて提供します。
- ・ その検討材料となる情報については、PI活動で提供される情報との区別、検討中であるなどといった情報の性格と位置付けを明確にした上で提供します。

## 6) P I 計画の策定の経緯

- ・ P I 計画の取りまとめに当たって、幅広い市民等の意見を反映することが必要と考え、平成15年11月に計画の取りまとめの方針・方向性を示した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方の検討に当たっての基本的な考え方」を公表し、意見を募集しました。
- ・ また、その上で、(案)を作成し、平成16年4月には、インターネットでの公表、小冊子の配布等、幅広く周知広報を実施し、パブリック・コメント(平成16年4月12日～5月12日：ご意見191件)を実施しました。

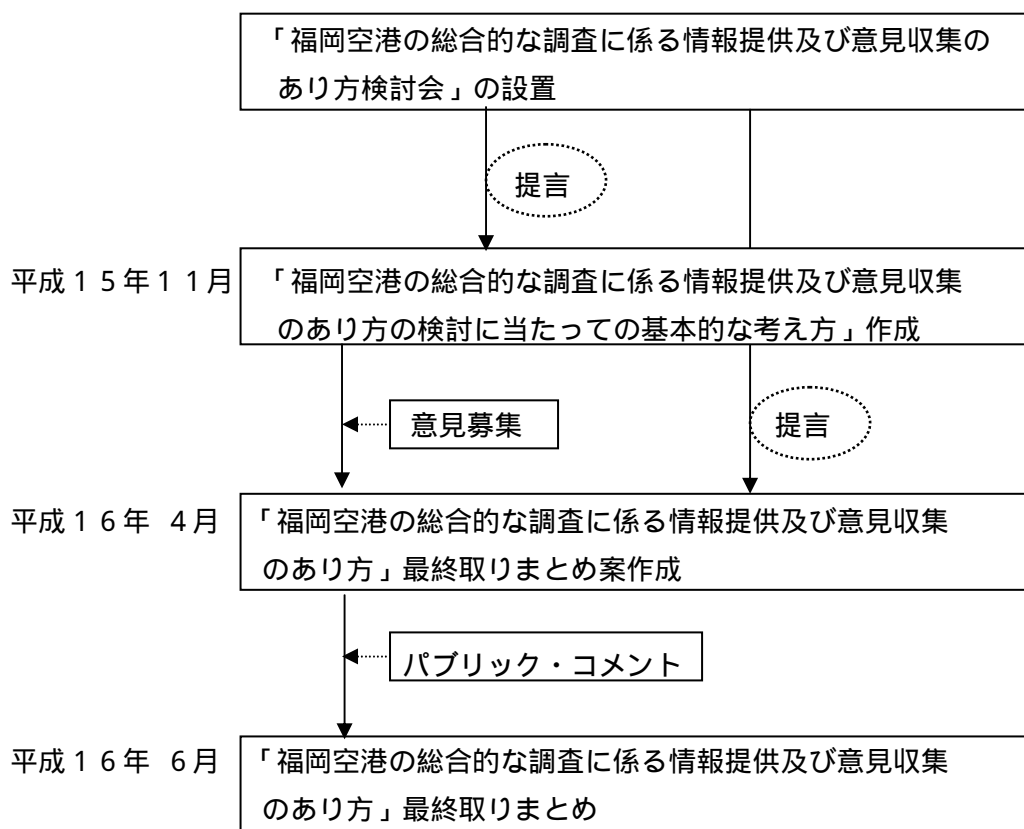


図 P I 計画策定・公表の経緯

## 2 福岡空港の総合的な調査の概要

### 福岡空港の総合的な調査




区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港能力の考え方の整理</li> <li>航空サービスに係る指標及び評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握( )</li> </ul>
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡空港の需要分析と利用向上方策の抽出</li> <li>現空港の運用実態分析と課題の抽出</li> <li>現空港の有効活用方策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡空港の航空需要の特性把握( を活用)</li> <li>現空港の有効活用方策の検討</li> </ul>
	空港能力の見極め	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空サービスの評価基準による現空港の空港能力の評価と見極め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価のための基礎調査( の再整理)</li> </ul>
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地域拠点空港の役割と効果の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空の利用特性の把握( )</li> <li>空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討</li> </ul>
	将来の航空需要の予測	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空需要の分析</li> <li>地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理( を活用)</li> </ul>
	近隣空港との連携方策の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣空港との連携に向けた基本的な考え方の整理</li> <li>近隣空港との連携方策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港連携に関する事例等の収集・整理</li> <li>近隣空港との連携方策の検討</li> </ul>
現空港における滑走路増設の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路増設に係る空港の計画要件の検討</li> <li>現空港における滑走路増設の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路増設の資料収集・整理</li> <li>滑走路増設に伴う影響と効果の検討</li> </ul>	
新空港の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空港の計画要件の検討</li> <li>新空港の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港立地の考え方の整理</li> <li>新空港に係る基礎検討</li> <li>現空港用地の開発計画の検討</li> </ul>	
とりまとめ		

### 3 P I手法の概要



#### (1)パンフレット、リーフレット

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供情報を、文章や写真で分かり易く印刷物として製作し、市民等に広く配布。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報を広く市民等に伝える。</li> </ul>
手法の特徴	<p>リーフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報をコンパクトにまとめて提供。</li> <li>・定期的に出すことを基本とするが、必要に応じ適宜作成することも可能。</li> <li>・市民等への配布、関係行政機関の公共施設等での陳列等により、広範囲の市民等が定期的かつ迅速に情報を得ることが可能。</li> </ul> <p>パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報をコンパクトな印刷物として提供する。</li> <li>・情報の要点などについて分かり易く入手できるとともに、印刷物として手元に残すことも可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<p>リーフレット：最新の情報を定期的に発行。</p> <p>パンフレット：提供する情報の密度等勘案し、適宜発行。</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての市民等</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iで提供する情報全般</li> <li>特に、アンケート等調査の事前告知・結果報告や関連イベントの紹介・結果報告</li> </ul>
事例	<p>リーフレット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京外かく環状道路 「外環ジャーナル」(新聞折り込み等により配付)</li> <li>・千葉柏道路 「千葉柏道路 NEWS」</li> <li>・横浜環状道路 「(仮称)横浜環状北西線広報紙」 平成15年/7月 No.1発行、平成16年/1月現在 No.5</li> </ul> <p>パンフレット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京外かく環状道路各種パンフレット</li> </ul>


(2)見学会

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等が、検討の対象となる地域や施設を直接訪問し、現状や関連する調査結果について説明を聞くための催し。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地を見ることで市民等の理解を深める。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域や施設の実情を直接訪問することで、市民等が理解を深めることができる。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心、参加意識が高い市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学対象となる地域や施設に関する情報。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地を訪問したことに対する意見、感想。</li> </ul>
事例(イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「空港施設見学会」(イメージ)            空港施設を訪れ、その場で空港の現状について説明を受けることで、空港機能についての理解が深まる。</li> </ul> <div style="text-align: center;">    </div> <p>出典：富山空港「空の日」イベント紹介ページ  <a href="http://www.nsknet.or.jp/~sakuda/travel/toy/">(http://www.nsknet.or.jp/~sakuda/travel/toy/)</a></p>


### (3) インフォメーションコーナー

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報交換のための施設（立寄りセンター）を常設設置して、市民等の意見や提案を直接把握する。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P I および関連する調査等の結果をわかりやすく伝える。</li> <li>・ 市民等からの信頼度を高めること。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等と行政スタッフがフェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションを行うことで、信頼関係を高めることが可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提供すべき情報が蓄積された段階。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設へ直接来訪できる市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P I に関わる情報。</li> <li>・ 調査等の情報。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公表済み情報に対する市民等の質問や意見。</li> </ul>
事例	<p>仙人峠道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙人峠道路インフォメーションセンター 所在地 岩手県釜石市甲子町 開館時間 10:30～16:00（土日祝日は休館）</li> <li>・ 仙人峠道路の事業の必要性、整備効果、構造物の施工方法・工事の進み具合を、パネルや実際に工事で使用している材料の展示で紹介する。</li> <li>・ 現在おこなっている仙人トンネルの工事の映像を見ることができる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">   </div>

(4)ホームページ


<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上にホームページを開設し、これを活用して関連する情報を提供。</li> </ul>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新情報を迅速にかつ広範囲(全世界)に提供。</li> </ul>
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範で範囲の特定が困難な市民等に対する情報提供手法として有効な手法。</li> <li>・市民等は、情報を迅速に得ることができ、精度の高い(ボリュームの多い)情報も入手可能。さらにビジュアル表現によりわかり易い情報を得ることができる。</li> <li>・返信メールアドレスを明示することで双方向コミュニケーションが容易に実現。</li> <li>・パソコン等のインターネット端末が必要。</li> </ul>
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iの実施と同時に設置されることが望ましい。</li> <li>・以降、こまめに情報を更新し、タイムリーな情報提供を行うことが重要。</li> </ul>
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等に加え、関連する全ての人を対象。</li> </ul>
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P Iに関するすべての情報(調査等の情報を含む)。</li> </ul>
<p>把握できる情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上に掲載されている情報に対する質問や意見(返信メールアドレスの活用による)。</li> </ul>
<p>事例</p>	<p>東京外かく環状道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な掲載コンテンツ</li> </ul> <p>外環とは/スケジュールと経過/外環への意見(意見募集と意見紹介)/有識者委員会/沿線協議会/パンフ・資料/用語集/広報誌</p>  <p>The screenshot shows a web browser window displaying the homepage for the 'Tokyo Outer Ring Road' project. The page features a green header with navigation links like 'Home', 'About', 'Schedule', 'Opinion', 'Committee', 'Agreement', 'Pamphlet', 'Glossary', and 'Publicity'. A central map shows the road's route. To the right, there are news items with dates and headlines, such as 'Outer Ring Road Journal No. 15 Issued' and '30th Meeting of the Outer Ring Road Agreement Committee'. A sidebar on the left contains links to various sections like 'Introduction', 'About the Road', and 'Committee'.</p>

(5) 説明会


概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査等の情報を PI 実施主体が説明し、市民等からこれに対する質問や意見を受ける公式の場として開催。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公式に PI 実施主体が市民等に対して、調査等の情報を提供する。</li></ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正確な情報を伝えることが可能。</li><li>・ 説明会やセミナーのみで市民等と十分なコミュニケーションするためには、他の対話手法と組み合わせて用いることが必要。</li></ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取りまとめられた情報等を提供する際に実施。</li></ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全ての市民等</li></ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取りまとめられたレポート及び関連する調査等の情報</li></ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 提示した情報に関する市民等の意見や疑問</li></ul>
事例	<p>余目酒田道路整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 余目酒田道路では、地区の懇談会において、中立的な立場の司会者のもと実施。</li><li>・ 司会者が、「事業者側の発言を、分かりやすい言葉で解説」し、市民の意見のポイントと背景にある関心等を確認しながら進行することで、多くの参加者から「分かりやすい」との評価を受けた。</li></ul> <p>余目酒田道路整備事業における実施状況</p> 




(6) 懇談会

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関連事業者や市民、各種の団体、有識者など特定のカテゴリーの関係者と意見交換を行い、情報の共有等を図る。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報を提供し、特定のカテゴリー層の意見や論点を顕在化させること。</li></ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 十分に情報提供し、議論することにより、相互の理解を深めることができる。</li><li>・ 参加者の属性に応じて設置することで、参加者が発言しやすい環境を創出する。</li></ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 検討の初期の段階から。</li></ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関連する事業者や関心を持つ市民、各種の団体（市民団体等も含む）、専門知識を有する有識者など。</li></ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ その時点で議題とすべき事項の詳細な情報</li></ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ その時点での各参加者の関心。</li></ul>
事例	<p>国道 8 号加賀拡幅に係る懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国道 8 号加賀拡幅事業では、地域住民等との懇談会と、「沿道商業者懇談会」（沿道商業関係者が参加）などを設置。</li><li>・ 沿道の商業事業者としての拡幅事業に対する意見を把握した。</li></ul> 

(7)オープンハウス

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パネルの展示やパンフレット等資料の配布（場合により、図面、写真、模型、ビデオを用いた解説）により、市民等が参加しやすい時間帯に情報を提供する場を設ける。</li> <li>・ 市民等は担当の行政スタッフに対して質問し、コメントカードやアンケートによって意見を述べる事が可能。</li> </ul>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等が、参加しやすい環境のもと、取りまとめられたレポートや関連する調査等に関する正確な情報を提供する。</li> <li>・ 会議形式の行事に抵抗感を有する市民等に機会を提供し幅広く情報提供する。</li> </ul>
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会など大勢の前で発言することに抵抗感を有する市民等も参加し易い。</li> <li>・ 市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報だけを得ることが可能。</li> <li>・ フリップボード等に参加者の意見を残すことで、他の参加者の意見を知ることが可能。</li> </ul>
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時。</li> </ul>
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての市民等</li> </ul>
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その時点で議題とすべき事項の詳細な情報</li> </ul>
<p>把握できる情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示した情報に関する市民等の意見や疑問</li> </ul>
<p>事例</p>	<p>(仮称)横浜環状北西線整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画検討の開始に当たって、オープンハウスを実施。</li> <li>・ パネル等を用いて計画の目的や今後の進め方等の情報を提示する一方、来訪者から質問や意見を受付。</li> <li>・ 役所のホールに加え、日常的に人が多く集まるショッピングセンター、駅構内、パーキングエリア、動物園等で実施。</li> </ul> <p>(仮称)横浜環状北西線整備事業における実施状況</p> 

(8)パブリック・コメント

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査等の成果に対する市民等の意見を、幅広く集約すること。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査等の成果に対する市民等の意向を把握すること。</li> </ul>
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示された調査等の成果に対して関心のある市民等が、自由に意見を述べる事が可能。</li> </ul>
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートが取りまとめられるなど、一定の成果がまとまったとき。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すべての市民等。</li> </ul>
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取りまとめられたレポート及び関連する調査等の情報など。</li> </ul>
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示された調査等の成果に対する市民等の意見。</li> </ul>
事例	<p>福岡県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡県庁ホームページで公開されているパブリックコメント募集案内</li> <li>・ 掲載内容 趣旨説明/意見書様式/意見募集の対象となる資料/意見書の提出期間/意見の提出方法/(持参、郵送、ファクシミリ又は電子メール)/意見書の提出先</li> </ul>  <p>The screenshot shows a webpage from the Fukuoka Prefecture government website. The page title is 'パブリックコメント募集' (Public Comment Collection). The main content area contains a notice regarding the collection of public comments on a specific administrative matter. The notice includes details about the purpose, the types of comments accepted, and the submission process. The page layout includes a header with the Fukuoka Prefecture logo and navigation links, a left sidebar with various service links, and a main content area with a large heading and several paragraphs of text. There are also some icons and buttons for navigation.</p>

## 4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約

### (趣旨)

第1条 この規約は、福岡空港の総合的な調査において、福岡空港調査連絡調整会議(以下「調整会議」という。)が行うパブリック・インボルブメント(以下「P I」という。)に係るプロセスの透明性、客観性及び公正性を確保することを目的として設置された、福岡空港調査 P I 有識者委員会(以下「委員会」という。)の所掌事務、委員の構成その他運営に関する事項について定めるものとする。

### (所掌事務等)

第2条 委員会は、次の事務を所掌する。

- (1) P I 実施計画に関する評価
  - (2) P I 実施段階における監視
  - (3) P I 実施結果に関する評価
  - (4) その他委員会の目的実現のために必要な事項
- 2 前項のほか、委員会は必要がある場合は、調整会議に対して P I プロセスに関して助言を行い、調整会議は委員会からの助言に対応する責務を負うものとする。

### (委員の構成)

第3条 委員会は、所掌事務の遂行に必要な専門的知識及び福岡空港が抱える課題への対応策について中立的かつ客観的な考え方を有する有識者で構成し、別紙の通りとする。

2 委員の変更の際には、委員会の承認を必要とする。

### (第三者性)

第4条 委員は、特定の行政機関及び特定の利害関係者の利益を代表してはならない。

### (委員の任期)

第5条 委員の任期は、委員会の所掌事務が完了するまでとする。

### (委員長)

第6条 委員会に委員長をおく。

- 2 委員長は、委員の互選により選任する。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 委員長が職務を遂行できない場合は、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の運営)

第7条 委員会は、委員長の発議により開催する。

2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会は、調整会議に対して委員会の会議への出席及び委員会の運営に必要な資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、個人を識別させる情報、個人の権利利益を害する恐れのある情報等を漏らしてはならない。

2 前項の規定は、委員の職を退いた後も同様とする。

(委員会の公開)

第9条 委員会は、特段の理由がある場合を除き、原則として公開とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は福岡市が行う。

(その他)

第11条 この規約に定めのない事項は、委員会が定める。

付 則

この規約は、平成16年12月9日に施行する。

< 委員名簿 >

別紙

福岡空港調査 P I 有識者委員会委員

(五十音順)

氏 名	職 業
石 田 東 生	筑波大学社会工学系教授
杉 尾 政 博	西日本新聞社特別顧問
竹 林 幹 雄	神戸大学工学部助教授
土井良 延 英	公認会計士
山 本 智 子	弁護士

## 5 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

### (1) ホームページ

#### 福岡空港調査連絡調整会議

- ・九州地方整備局のホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp>

トップページ・新着情報

<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp> (港湾空港部)

トップページ・福岡空港の  
総合的な調査

- ・大阪航空局のホームページ

<http://www.ocab.mlit.go.jp>

トップページ 最新情報

- ・福岡県のホームページ

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp>

トップページ・「住まいと交通」の道路・交通

「福岡空港調査連絡調整会  
議」

- ・福岡市のホームページ

<http://www.city.fukuoka.jp>

トップページ・「暮らしの基盤」 「福岡空港」

「福岡空港調査連絡調整会  
議」

#### 福岡空港調査 P I 有識者委員会

- ・福岡市のホームページ

<http://www.city.fukuoka.jp>

トップページ・「暮らしの基盤」 「福岡空港」

「福岡空港調査 P I 有識者  
委員会」

- ・上記福岡空港調査連絡調整会議のホームページからもご覧いただけます。

### (2) P I 計画、P I 実施計画冊子等の情報提供窓口

印の窓口では、福岡空港連絡調整会議で報告された調査報告等の閲覧が可能です。

#### 国の機関

- ・国土交通省九州地方整備局 (空港 P T 室)

〒810-0074 福岡市中央区大手門 2 - 5 - 3 3

TEL(092)752-8601

FAX(092)724-2480

- ・国土交通省大阪航空局 (空港整備調整課)

〒540-8559 大阪府中央区大手前 4 - 1 - 7 6

TEL(06)6949-6469

FAX(06)6949-6218

#### 福岡県機関

- ・空港対策局空港計画課

県庁舎行政棟北側 9 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

代表 TEL(092)651-1111 内線 2697

直通 TEL(092)643-3216

- ・県民情報センター

県庁舎行政棟北側 1 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号  
代表 TEL(092)651-1111 内線 2459  
直通 TEL(092)643-3108

- ・北九州県民情報コーナー 県小倉総合庁舎 2 階  
〒803-0813 北九州市小倉北区城内 7 番 8 号  
TEL (093)581-4934
- ・筑後県民情報コーナー 県久留米総合庁舎 1 階  
〒839-0861 久留米市合川町 1 6 4 2 番地の 1  
TEL (0942)30-1030
- ・筑豊県民情報コーナー 県飯塚総合庁舎 1 階  
〒820-0004 飯塚市新立岩 8 番 1 号  
TEL (0948)29-5459
- ・京築県民情報コーナー 県行橋総合庁舎 1 階  
〒824-0005 行橋市中央 1 丁目 2 番 1 号  
TEL (0930)23-9189

#### 福岡市機関

- ・総務企画局 空港推進担当  
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1  
TEL (092)711-4102
- ・市政情報コーナー 〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1  
TEL (092)711-4041  
TEL (092)733-5333
- ・東区役所 企画課  
〒812-8653 福岡市東区箱崎 2 丁目 5 4 - 1  
TEL (092)645-1012
- ・博多区役所 企画課  
〒812-8512 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 9 - 3  
TEL (092)419-1011
- ・中央区役所 企画課  
〒810-8622 福岡市中央区大名 2 丁目 5 - 3 1  
TEL (092)718-1013
- ・南区役所 企画課  
〒815-8501 福岡市南区塩原 3 丁目 2 5 - 1  
TEL (092)559-5017
- ・城南区役所 企画課  
〒814-0192 福岡市城南区鳥飼 6 丁目 1 - 1  
TEL (092)833-4009
- ・早良区役所 企画課  
〒814-8501 福岡市早良区百道 2 丁目 1 - 1  
TEL (092)833-4307
- ・早良区入部出張所 〒811-1102 福岡市早良区東入部 2 丁目 1 4 - 8  
TEL (092)804-2011
- ・西区役所 企画課  
〒819-8501 福岡市西区内浜 1 丁目 4 - 1



TEL (092)895-7007

・西区今宿出張所

〒819-0166 福岡市西区横浜 1丁目 2 - 1

TEL (092)806-0004

( 本冊子等についての問い合わせ先 )

( P I 計画、実施計画、福岡空港調査連絡調整会議関係 )

福岡県企画振興部空港対策局空港計画課 P I 担当  
代表 TEL(092)651-1111 内線 2697  
直通 TEL(092)643-3216

( 福岡空港調査 P I 有識者委員会関係 )

福岡市総務企画局空港推進担当 TEL (092)711-4102

# 福岡空港調査連絡調整会議News

れんらくちょうせいかいぎニュース

第1号

(発行所) 福岡空港調査連絡調整会議 (ニュース発行事務局)

〒812-8577 福岡県博多区東公園7-7 (福岡県空港対策局空港計画課内)

TEL: 092-643-3216 FAX: 092-643-3217

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

## はじめに

福岡空港は、国や地域にとって重要な役割を果たしている反面、混雑問題など様々な課題を抱えています。そこで、国（九州地方整備局、大阪航空局）と地域（福岡県、福岡市）は平成15年7月に福岡空港調査連絡調整会議を設け、福岡空港の将来のあり方について総合的な調査を行っています。

調査にあたっては、空港利用者をはじめ県民、市民の皆様幅広く情報提供し、ご意見をいただきながら進めていくことにしています。

この情報提供の一環として、このたび「連絡調整会議ニュース」を発行することとしました。わかりやすい紙面づくりを心がけていきますので、みなさまの幅広いご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願い致します。

## 福岡空港調査連絡調整会議とは

「福岡空港の総合的な調査」を、関係行政機関が連携して進めるための会議です。

### 会議の役割

福岡空港の総合的な調査の内容及び進め方に関すること

福岡空港の総合的な調査にかかる情報提供及び意見収集の実施等に関すること



福岡空港調査連絡調整会議の様子

### 会議の構成員

国土交通省九州地方整備局長  
国土交通省大阪航空局長  
福岡県副知事  
福岡市副市長

### 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長  
国土交通省大阪航空局飛行場部長  
福岡県企画振興部理事  
福岡市総務企画局理事

## 福岡空港の総合的な調査とは

国、福岡県、福岡市は、福岡空港の「総合的な調査」を実施します。

福岡空港は、国の交通政策審議会の答申で、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されるため、将来にわたって国内外ネットワークにおける拠点性を発揮しうよう「総合的な調査」を進める必要があることが示されました。

「総合的な調査」では、幅広い調査を実施します。

福岡空港の将来の混雑問題など様々な課題について、今の空港でどのくらい対応できるのか、将来何らかの対応策が必要なのかなど、幅広く調査し、必要な対応案を考えます。

幅広く調査

「今の滑走路一本でどのくらい活用できるのか」  
「近隣の空港を活用できないか」  
「今の空港で滑走路を増やせないか」  
「新しい空港を造って対応するか」など

「総合的な調査」では、パブリック・インボルブメントの手法を導入します。

福岡空港は、国や地域にとって重要な役割を果たしており、空港利用者のみならず、みなさんの暮らしにも大きな影響を与えています。そこで「総合的な調査」は、皆さんに積極的に情報を提供し、ご意見をいただきながら進めていくことにしました。このことを、パブリック・インボルブメント（PI）といいます。

関係行政機関は「総合的な調査」を踏まえ、対策を進めていきます。

関係行政機関は、皆様のご意見をお聞きしながら福岡空港調査連絡調整会議において作成された対応案の中から、総合的に判断して、案を絞り込み対応策を決めていきます。

福岡空港の総合的な調査の全体内容と調査の分担は次のとおりです。  
また、丸数字は、調査の実施年度（予定）を示しています。

「国」の欄の調査は、九州地方整備局及び大阪航空局で、「地域」の欄の調査は、福岡県・福岡市が調査実施のため共同で設置した福岡空港調査委員会で行っています。

区分	国	地域
滑走路を増設しない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港能力の考え方の整理 ⑮</li> <li>・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討 ⑮⑯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握(☆) ⑮⑯</li> </ul>
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港の需要分析と利用向上方策の抽出 ⑮</li> <li>・現空港の運用実態分析と課題の抽出 ⑮</li> <li>・現空港の有効活用方策の検討 ⑯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡空港の航空需要の特性把握(☆☆を活用) ⑯</li> <li>・現空港の有効活用方策の検討 ⑯</li> </ul>
	空港能力の見極め	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空サービスの評価基準による現空港の空港能力の評価と見極め ⑯⑰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のための基礎調査(☆の再整理) ⑯</li> </ul>
	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地域拠点空港の役割と効果の検討 ⑮⑯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空の利用特性の把握(☆☆) ⑮⑯</li> <li>・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討 ⑮⑯⑰</li> </ul>
	将来の航空需要の予測	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空需要の分析 ⑮</li> <li>・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施 ⑯⑰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理 (☆☆を活用) ⑮⑯</li> </ul>	
近隣空港との連携方策の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣空港との連携に向けた基本的枠組みの検討 ⑰</li> <li>・近隣空港との連携方策の検討 ⑰～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港連携に関する事例等の収集・整理 ⑰</li> <li>・近隣空港との連携方策の検討 ⑰～</li> </ul>	
現空港における滑走路増設の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討 ⑰</li> <li>・現空港における滑走路増設の検討 ⑰～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設の資料収集・整理 ⑰</li> <li>・滑走路増設に伴う影響と効果の検討 ⑰～</li> </ul>	
新空港の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港の計画要件の検討 ⑰</li> <li>・新空港の検討 ⑰～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港立地の考え方の整理 ⑰</li> <li>・新空港に係る基礎検討 ⑰～</li> <li>・現空港用地の開発計画の検討 ⑰～</li> </ul>	

とりまとめ

## Topic 2

## 平成15年度調査結果について

福岡空港調査連絡調整会議にこれまで提出された、平成15年度調査結果について、ご紹介いたします。今回紙面の都合で一部のみをご紹介しますが、詳しくは、こちらのホームページまたは、6ページにご案内の配架場所をご覧ください。

→ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/wbase.nsf/doc/renrakuyouseikaigi>

### 【九州地方整備局 調査】福岡空港の需要分析に関する調査

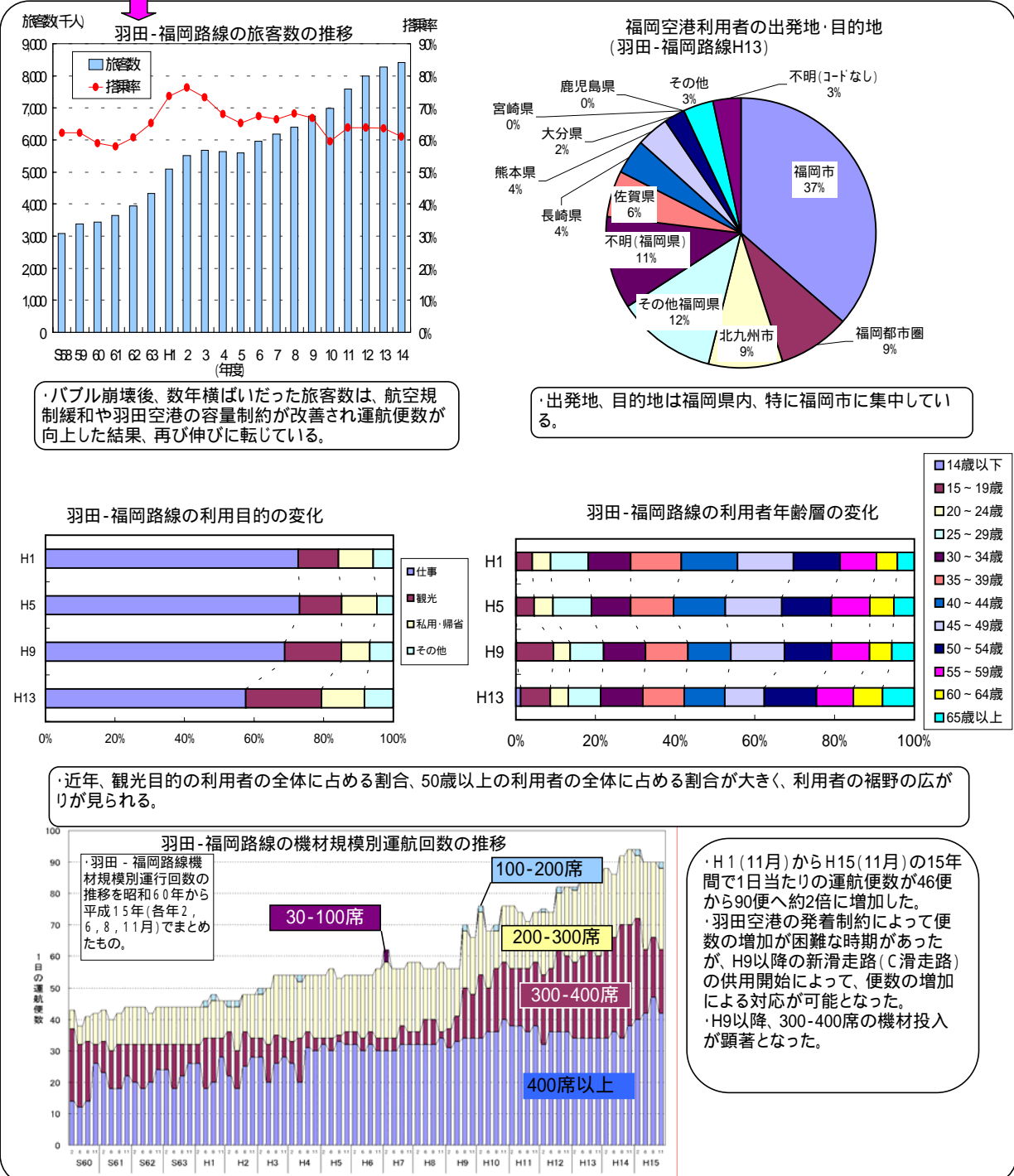
調査のあらまし

福岡空港の将来の航空需要動向の分析のための基礎条件の検討のため、福岡空港の主要路線（羽田、伊丹、関空、名古屋、那覇、新千歳、宮崎、鹿児島）の需要の推移及び航空機材の推移を把握するとともに、将来の需要動向の分析のための基礎条件の整理等を行いました。

主要路線

羽田路線 伊丹路線 関空路線 名古屋路線 那覇路線 新千歳路線 等

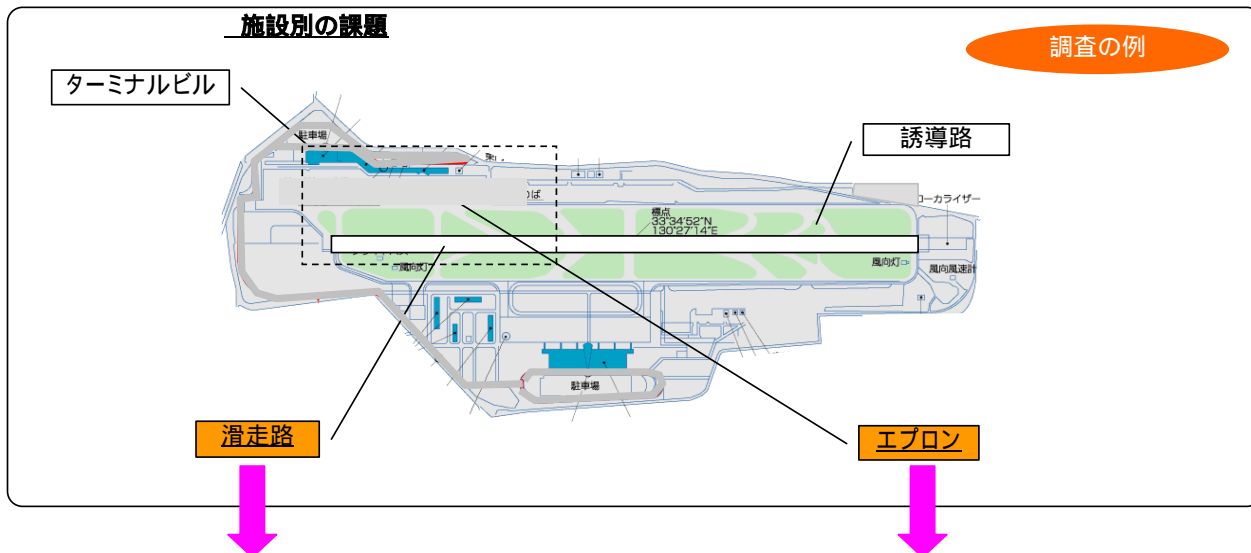
調査内容の例



【大阪航空局 調査】 福岡空港処理能力向上調査 ~ 現空港の運用実態分析 ~

調査のあらまし

福岡空港の運航・運用実態およびターミナル施設利用状況を調査し、空港処理能力に関し、滑走路、誘導路、エプロン、ターミナルなどの施設別の課題点を抽出整理しました。



調査の例

施設別の課題 滑走路(例)

**理想的な運用**

・南側から海方向に着陸する到着機(\*注)が、赤マーカーのスポットインに向け、地上走行する場合、……(～水色の経路で誘導路に入ると滑走路を早く離脱できますが～)

\*注：滑走路は、基本的に向かい風の運用を原則としています。

**実態**

滑走路末端近くまで滑走路を使用しているため、滑走路占有時間が長くなる。

運航関係者アンケートから  
(滑走路を離脱する到着機の問題点)  
・滑走路34運用(海方向へ離着陸する運用)の到着機が滑走路末端まで滑走路を使用しているため滑走路占有時間が長くなる。』

施設別の課題 エプロン(例)

**対面交通できない状態(イメージ)**

・出発機のプッシュバック(牽引車による航空機の押し出し)において、エプロンと平行誘導路の奥行きが短く、プッシュバック機と地上走行機との分離が図れないため、……

**実態**

プッシュバックの待機が発生している。

運航関係者アンケートから  
(出発機のプッシュバックがスムーズに行えない状況)  
・時間帯は、朝夕のピーク時など  
(出発機のプッシュバックがスムーズに行えない要因)  
・エプロンと平行誘導路の奥行きが短い。』

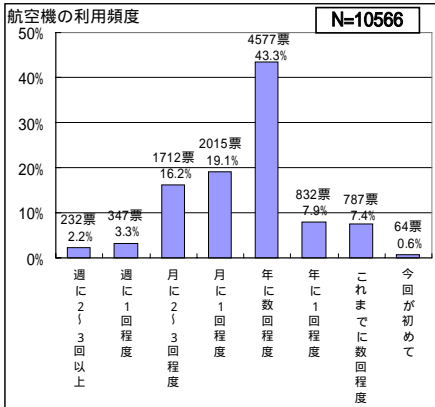
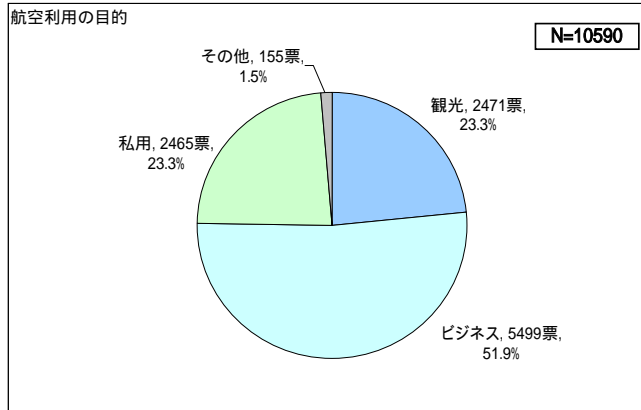
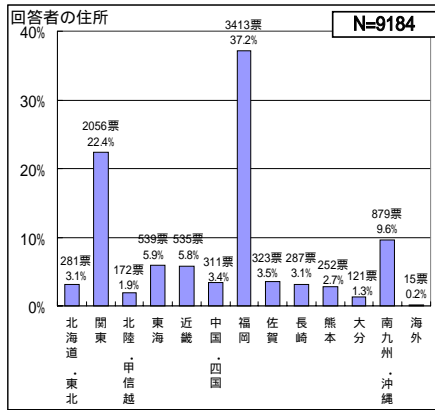
**【地域(福岡空港調査委員会) 調査】 航空の利用特性の把握調査**

調査のあらまし

**福** 福岡空港の利用者の特性を把握するため、利用状況(住所、利用目的、旅行日程、空港までのアクセス、予約の方法など)や意識(満足度、希望搭乗便など)について、アンケート調査を空港内出発ゲートラウンジで実施しました。また、他の空港についても同様のアンケートをインターネットによって実施しました。

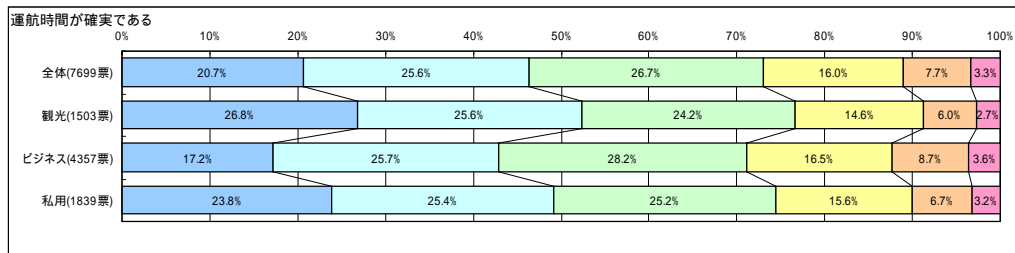
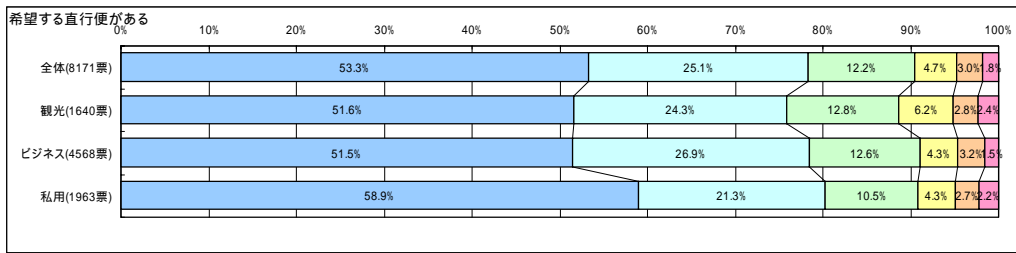
調査内容の例

福岡空港国内線アンケート調査(期間: H16.01.26 - H16.02.01 回収サンプル数: 10,647票)



**回答者の属性**

- ・回答者の住所は「福岡県」が最も多く、約4割弱を占め、その他地方では、「関東」が約2割を占めている。
- ・航空利用の目的では、「ビジネス」が最も多く過半を占め、「観光」「私用」は同程度の割合となっている。
- ・回答者の航空機の利用頻度は、「年に数回程度」が最も多く約4割を占め、続いて「月に1回程度」「月に2~3回程度」の順となっている。



満足 ← [5] [4] [3] [2] [1] [0] → 不満

**福岡空港の利用についての満足度**

- ・希望する直行便があるかについては、満足側が約9割と高く、満足度5についても半数を超えている。
- ・運航時間が確実であるかについては、満足側が約7割とやや低く、満足度5も2割程度となっている。全般的にビジネス利用での満足度の割合が低い。



## その他の調査

### 【九州地方整備局 調査】 空港能力に係わる基礎検討調査

調査のあらまし

**福**岡空港における能力の評価と見極めを行うため、航空サービスと空港能力の関係を整理し、利用者の視点に立った空港能力の評価の考え方について検討するとともに、具体的な指標のケーススタディーとして、「予約の取りやすさ指標」について考察を行いました。

### 【地域 調査】 利用者の視点に立った航空サービスの評価基準検討の基礎調査

調査のあらまし

**利**用者の視点に立った航空サービスの評価の基本的な考え方について整理し、先行事例を参考にして、評価項目と指標の抽出を行いました。

### 【地域 調査】 福岡空港の社会経済的役割と効果及び将来像に関する基礎調査

調査のあらまし

**空**港の将来のあり方を考えるため、福岡空港と地域のつながりと捉え方を空港と地域の「現状」に関する視点、「将来」に関する視点に整理し、調査の体系を整理しました。

## Information

### 会議の開催状況などのお知らせ

#### 会議の開催状況・主な内容

平成15年度

- H15.07.30 第1回連絡調整会議 [ 連絡調整会議の開催要領 総合的な調査の内容 ]  
H15.11.10 第2回連絡調整会議 [ 総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方  
(略称「PI計画」)について 16年度調査の方向性 ]  
H16.03.15 第1回連絡調整会議幹事会 [ PI計画(原案)の最終報告 ]

平成16年度

- H16.04.14 第1回連絡調整会議 [ 15年度調査報告 16年度調査内容 ]  
H16.06.22 連絡調整会議幹事会(第1回) [ PI計画最終とりまとめ ]  
H16.09.15 連絡調整会議幹事会(第2回) [ 福岡空港調査PI有識者委員会(仮称)の設置 ]  
H16.11.04 第2回連絡調整会議 [ PI実施計画(ステップ1)の素案 ]

#### 意見募集の状況

- H15.11.17~H16.03.15 「福岡空港の総合的調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」検討にあたっての基本的な考え方  
H16.04.12~H16.05.12 「福岡空港の総合的調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」最終とりまとめ(案)  
H16.09.30~H16.10.20 「福岡空港の総合的調査に係るPI実施計画」作成にあたっての意見収集  
H16.11.11~H16.12.10 「福岡空港調査PI実施計画(ステップ1)」素案

## 事務局から

福岡空港調査連絡調整会議ニュース第1号をお届けします。皆様のご意見ご感想をニュース発行事務局までお寄せ下さい。

このニュースは下記関係行政機関のホームページにも掲載いたしております。

本号でご紹介しました平成15年度調査の報告書については、下記関係行政機関のホームページのほか下記の場所でもご覧いただけます。

福岡県庁(1階)県民情報センター

福岡市博多区東公園7-7 TEL:092-643-3108

県内4カ所の県民情報コーナー

北九州 (北九州市小倉北区内7-8 県小倉総合庁舎2階 TEL:093-581-4934)

筑後 (久留米市合川町1642-1 県久留米総合庁舎1階 TEL:0942-30-1030)

筑豊 (飯塚市新立岩8-1 県飯塚総合庁舎1階 TEL:0948-29-5459)

京築 (行橋市中央1-2-1 県行橋総合庁舎1階 TEL:0930-23-9189)

福岡市役所(2階)市政情報コーナー

福岡市中央区天神1-8-1 TEL:092-711-4041

福岡市情報プラザ

福岡市中央区天神1-7-11 (イムズ7階) TEL:092-733-5333

#### 福岡空港調査連絡調整会議・関係行政機関



国土交通省九州地方整備局(空港PT室)  
〒810-0074 福岡市中央区大手門2-5-33  
TEL:092-752-8601 FAX:092-724-2480  
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp>



福岡県(空港対策局空港計画課)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-643-3216 FAX:092-643-3217  
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp>



国土交通省大阪航空局(空港整備調整課)  
〒540-8559 大阪市中央区大手前4-1-76  
TEL:06-6949-6469 FAX:06-6949-6218  
<http://www.ocab.mlit.go.jp>



福岡市(総務企画局空港推進担当)  
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1  
TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5582  
<http://www.city.fukuoka.jp>

この連絡調整会議ニュースは、再生紙を使用しています。



[発行所]福岡空港調査連絡調整会議 [ニュース発行事務局]

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 (福岡県空港対策局空港計画課内)

TEL:092-643-3216 FAX:092-643-3217

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

## トピック

### 福岡空港調査PI有識者委員会の設置について

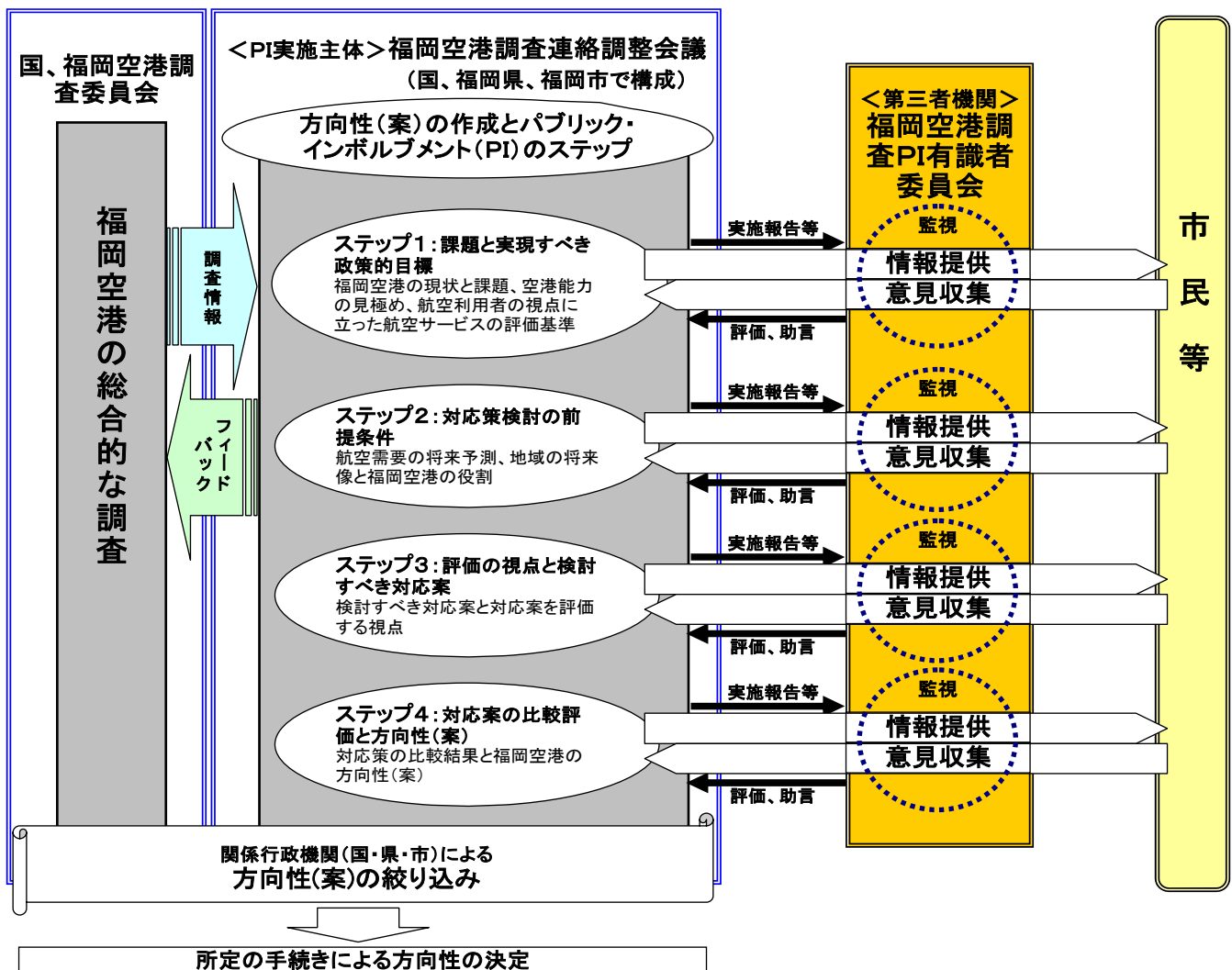
福岡空港の総合的な調査に係るパブリック・インボルブメント (PI) について客観的な立場から評価と助言を行う「福岡空港調査PI有識者委員会」を設置しました。

#### 福岡空港調査PI有識者委員会の目的

福岡空港の総合的な調査は、国と地域が連携しながら調査を行うとともに、皆さんへの積極的な情報提供と幅広い意見収集 (この手法をパブリック・インボルブメント (PI) と呼びます。) を行いながら進めます。

福岡空港の総合的な調査に係るPIの進め方 (PI計画) については、平成16年6月にとりまとめが行なわれ、福岡空港調査連絡調整会議がPIの実施主体となることや、PIが適切に進められているかをチェックするため、PI、法律、空港などについての専門的な知識を持つ人による「第三者機関」を設けることが定められました。

福岡空港調査PI有識者委員会は、この「第三者機関」として、今後行われるPIに対し中立的、客観的な立場から監視と評価及び助言を行います。



図：PIにおける福岡空港調査PI有識者委員会の役割

## 第1回福岡空港調査PI有識者委員会

平成16年12月9日に福岡サンパレスにて第1回福岡空港調査PI有識者委員会が開催され、委員長の選出や委員会の役割の確認、委員会の運営方針の検討等が行われました。

### 福岡空港調査PI有識者委員会委員（五十音順）

委員長：石田 東生（筑波大学社会工学系教授）  
杉尾 政博（西日本新聞社特別顧問）  
竹林 幹雄（神戸大学工学部助教授）  
土井良延英（公認会計士）  
山本 智子（弁護士）



### <第1回委員会の内容>

#### ○福岡空港調査PI有識者委員会の役割・機能

福岡空港の総合的な調査におけるPIは、4つのステップを踏みながら行う予定であるため、福岡空港調査PI有識者委員会の審議は、そのステップごとに行います。（前ページの図参照）

各ステップの審議は、以下の3つの段階に分けて行います。また必要に応じて助言を行うとともに、時間管理を行います。

- ・PI実施計画に関する評価：福岡空港調査連絡調整会議が策定するPI実施計画が適切であるか、計画に対して寄せられた意見への対応が適切であるかを評価します。
- ・PI実施段階における監視：PIが適切に実施されているかどうかを点検します。
- ・PI実施結果に関する評価：PIによる情報提供・意見収集が行われ、市民等からの意見への対応が適切であるかを評価します。

#### ○評価の視点

福岡空港調査PI有識者委員会では、行政と市民との間に多方向かつ重層的なコミュニケーションが行われているかどうかの視点、具体的には、PIによって提供された情報が皆さんに十分に伝えられているかどうか、また、皆さんからの意見が幅広く集められているかどうか、さらには、集められた意見を皆さんが知ることができるかどうか等の視点から評価を行います。

#### ○情報公開

福岡空港調査PI有識者委員会における会議の資料や議事録は、原則として公開します。また、有識者委員会の透明性の確保の観点から、次回から委員会の傍聴ができます。

（※傍聴を希望される方は福岡市（総務企画局空港推進担当 TEL:092-711-4102）にお問い合わせ願います）

### お知らせ

#### 会議の開催状況などのお知らせ

H16.11.11～H16.12.10 「福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）」素案についての意見募集

H16.12.9 第1回福岡空港調査PI有識者委員会

H17.1.20 福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第3回）（「福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）」案の検討）

H17.2（予定）第2回福岡空港調査PI有識者委員会（「福岡空港調査PI実施計画（ステップ1）」案の評価）

### 事務局から

○福岡空港調査連絡調整会議ニュース第2号をお届けします。皆様のご意見ご感想をニュース発行事務局までお寄せ下さい。

○このニュースは下記関係行政機関のホームページにも掲載いたしております。

#### 福岡空港調査連絡調整会議・関係行政機関



国土交通省九州地方整備局（空港PT室）  
〒810-0074 福岡市中央区大手門2-5-33  
TEL:092-752-8601 FAX:092-724-2480  
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp>



福岡県（空港対策局空港計画課）  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-643-3216 FAX:092-643-3217  
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp>



国土交通省大阪航空局（空港整備調整課）  
〒540-8559 大阪市中央区大手前4-1-76  
TEL:06-6949-6469 FAX:06-6949-6218  
<http://www.ocab.mlit.go.jp>



福岡市（総務企画局空港推進担当）  
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1  
TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5582  
<http://www.city.fukuoka.jp>